

# 保健管理センター 5年報

[2015年度～2019年度]



岡山大学保健管理センター

2022年3月

## はじめに

岡山大学保健管理センターは、1949年5月31日の岡山大学創立とともに、厚生補導部保健室として発足しました。1958年4月1日学校保健法の施行に伴い学生部健康相談所が開設され、1967年5月31日には文部省令第11号で保健管理センターが設立されました。その後、法人発足時に保健環境センター・保健部門として位置づけられていましたが、2008年4月よりふたたび保健管理センターとして活動することになり今日に至っています。

この度、保健管理センターの5年報が作成されました。業務に関係するデータの散逸を防ぐとともに5年間の推移を振り返り今後の活動に生かしていくという動機のもと、「保健管理センター5年報」は1990年から1994年度を対象として刊行されたものが第1号で、この度の年報は2015年から2019年度の5年間を対象とした第6号となります。この5年間はおよそ第3期中期目標・中期計画期間の半ばまでに相当し、後半は槇野博史学長の新体制のもとでの3年間となりました。

法人化後10年以上を経て労働安全衛生の体制面での充実が図られ、学長の「こころの健康宣言」の発表とその具現化のための「メンタルヘルス対策推進室」の活動など、ことにメンタルヘルスにおける対応が進んできました。しかしながら、3次予防から1次予防・2次予防へと支援の拡大、ストレスチェック制度の職場環境改善への反映など、なお課題は山積しています。

また、岡山大学は「スーパーグローバル大学」として、またSDGs達成を強力に推進する大学として、授業への新システムの導入、留学生の受け入れ増加など常に向上のための変化を続けており、喫煙対策を含む健康教育、学生健康診断受診率の向上、感染症対策の充実、留学生や外国人研究者へのメンタルヘルス対策の充実など、保健管理センターの業務もそれに伴い常に変化を求められています。さらに、この度のCOVID-19によるパンデミック発生は、まさに緊急事態であり平時と異なる対応が要求されています。

一方で、学校保健安全法及び労働安全衛生法に規定された保健室としての機能や定期健康診断に特殊・特定業務健診をはじめとする各種健康診断、特定健康診査など種々の基本的な業務は当然支障なく行われるべきことであり、平時には学内でもほとんど意識されることはありません。しかしながら上記の絶え間ない変化や非常時への対応をも含めた様々な活動が、小さな職場における献身的な努力によって支えられていることを、5年報を通して垣間見て頂ければと思います。

この5年報をご覧いただき、保健管理センターの更なる充実のために、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

理事（医療担当）・岡山大学病院長  
保健管理センター所掌理事  
前田 嘉信



# 目 次

I. オーバービュー .....	1
II. 業務実施内容	
(1) 年度別実施業務 .....	2
(2) 保健管理センター利用状況 日常業務・日常検査件数 .....	7
(3) 定期健康診断 受診対象者数・実施内容 .....	10
①学生健康診断.....	10
②職員健康診断.....	17
(4) その他の健康診断・検診 .....	24
(5) メンタルヘルス部門 .....	26
III. 教育・啓発活動	
(1) 学生講義 .....	30
(2) 日常業務の中での健康教育 .....	41
①ポスター類・廊下掲示板の更新.....	41
②多目的トイレの新設.....	42
③ホームページ.....	42
④メーリングリスト.....	43
(3) 学内の講習・講演 .....	44
①保健管理センター講演会.....	44
②メンタルヘルス講演会.....	44
③メンタルヘルスクライシスマネジメント研修会.....	44
④安全衛生講習会.....	46
⑤禁煙教育.....	47
⑥学生サークル・グッドジョブセンター等に対する健康教育.....	47
IV. 学術研究活動	
(1) 学会・研究会発表 .....	49
(2) 論文・報告書など .....	58
V. 社会貢献活動 .....	62
VI. 保健管理センターの概況	
(1) 概要 .....	65
(2) 組織機構図 .....	67
(3) 保健管理センター配置図・建物平面図 .....	69
(4) 歴代センター長 .....	70
(5) 学校医・学校歯科医名簿（非常勤）.....	71
(6) 関係規則 .....	72
(7) センター職員 .....	77
あとがき .....	78



## I. オーバービュー

保健管理センター

センター長 岩崎良章

岡山大学保健管理センターの2015（平成27）年度から2019（令和元）年度までの5年間の業務内容などをまとめた5年報をお届けします。年報を作成されている大学保健管理施設が多いなか、単年度では分かりにくい年次推移を明らかにして振り返るという主旨から、当センターでは従来5年ごとに作成・報告してきました。しかしながら、ご承知の様に2020年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に追われたことにより、予定より一年遅れての報告となってしまいました。

当センターはこの5年の間に、1967（昭和42）年の保健管理センターとしての設置から2017（平成29）年5月31日をもって50周年の節目を迎えました。人事面では准教授から教授・センター長として約22年間の長きにわたりセンターを支えてこられた小倉俊郎前センター長が2017（平成29）年3月に退職され、新しい体制での再出発となりました。また、「こころの健康宣言」を実現させるための「メンタルヘルス推進室」コーディネーターをはじめとして、メンタルヘルスに関連した重要な案件への対応を大西勝教授のもとに精力的に推進して来られた清水幸登准教授が2019（平成31）年3月に退職され、後任に岡部伸幸講師（後に准教授に昇任）が就任しました。内科では中山光講師に代わり、谷口暁彦助教、その後、二宮崇助教が、小倉教授の退職後に樋口千草助教が就任しました。また、内藤恵子保健師、小林むつみ栄養士、今井あゆみ臨床検査技師といった勤続25年から30数年のベテランが退職して後任を迎えるなど、職員も大幅に変更となりました。

この5年を振り返ると、ストレスチェック制度の導入に続いてその安定した継続とともに、職場環境の改善にいかにつなげていくかを模索したこと、長時間労働者への対応体制の見直しによる過重労働者の顕在化とそれに対するフィジカル及びメンタルでの対応など、国立大学法人化後10年以上を経てもなお労働安全衛生対策のウェイトがさらに増し続けていると感じます。

一方、本学では「スーパーグローバル大学」として、留学生の受け入れ及び日本人学生の留学を積極的に進めており、感染症対策を充実させるとともに、外国人教職員及び留学生のメンタルヘルス対応が重要なテーマとなり、この5年間で可能な対策を講じてきました。また、学生健康診断受診率が低い事にも関連して少しでも受診しやすいようにと健康診断に予約制を導入しました。これは第3期中期目標・中期計画にも掲げられていた目標であり、期せずしてパンデミック時への事前の備えとなりました。

大学の保健管理に大きな影響を及ぼすパンデミックとしては、2007年から2008年にかけての麻疹の流行、2009年の新型インフルエンザの流行がありました。2003年のSARS及び2012年のMERSは幸い国内での流行は有りませんでした。しかし、COVID-19のパンデミックは、その後の当センターのみならず大学さらには社会の大きな問題に発展しており、本5年報作成中の現在もいまだに終息がみられず、当センターの業務も多大な影響を受け続けています。すなわち、この5年間の締めくくりを長く続くパンデミックに見舞われたこととなります。

大学を取り巻く環境は、運営費交付金の減少、人員の適正化、長時間労働の問題など厳しい状況であり、感染症の流行がさらに厳しさに拍車をかけるといった次々と難題に立ち向かわざるを得ない状況ですが、「しなやかに超えていく「実りの学都」へ」の槇野博史学長のビジョンにそって、学生・教職員の健康と安全のために職員一同努力していきたいと思います。

## II. 業務実施内容

### (1) 年度別実施業務（毎日の一般外来などの日常業務は除く）

保健管理センターでは、学生や教職員の健康の保持・増進を目的とし、運営委員会での討議を経て年間業務を遂行している。以下にその主な内容を年度別に記載した。

#### 2015（平成27）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 鹿田新入生オリエンテーション 8日 入学式、センターオリエンテーション	2～7日 新入生定期健康診断（5日間） （医・菌・養護のみ各種抗体検査） 9～24日 在校生定期健康診断（土日除く12日間） （Ⅱ部：1日のみ16:30～17:30実施） 30日 IR取扱者健康診断	
5月		12～14日 鹿田地区健康診断 B型肝炎抗体検査（医・菌）在校生 T-SPOT・TB検査（医・菌）在校生 11日 健康診断書受付開始 18日 健康診断書発行開始 19日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）1回目 25日 健康診断結果web配信（発行機証明書開始） 新入生・在校生健康診断事後措置	
6月		1日 鹿田地区健康診断結果web配信 10日 追加健康診断 16日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）2回目 24日 追加健康診断結果web配信 29日 麻疹等抗体検査（薬）	3日 グッドジョブ支援センター 熱中症講習会 16日 倉敷地区 胃検診 17日 農場 熱中症講習会
7月	2日 センター内防災訓練		21～24・27日 職員定期健康診断 （含給食業務従事者健診） 28～31日 津島地区 胃検診
8月	7・8日 オープンキャンパス 12～14日 夏季一斉休業（職員） 17・18日 国際バカロレア入試 26～28日 中・四国大学保健管理研究会（徳島） 28・29日 中国五大学学生競技救護所開設（電話にて対応）	1日 夏季休業 始 28日 麻疹等抗体検査の結果オリエンテーション（薬）	3日 津島地区 胃検診 4日 乳がん検診 5日 子宮がん検診 東山・平井地区 胃検診 31日 健診結果個人通知 事後措置開始
9月	9・10日 全国大学保健管理研究会（盛岡）	24・25・28・29日 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断 30日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目 夏季休業 終	3日 メンタルヘルスクライシスマネジメント
10月	17日 ホームカミングデイ救護所開設 22日 開学記念日 24・25日 AO入試（MP）救護所開設 31日・11/1 中国五大学学生競技救護所開設	14日 留学生及び後期入学者健康診断 28日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）3回目 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目	1日 IR取扱者健康診断 14・15日 追加健康診断
11月	6～8日 大学祭（津島・鹿田地区） 20日 全学防災訓練センター内防災訓練 21・22日 中国五大学学生競技救護所開設	4・5・13日 インフルワクチン接種（医・菌） 17日 後期入学者健診結果web配信 25日 インフルワクチン接種（薬5年）	9・12日 追加健康診断
12月	5日 AO・推薦入試救護所開設 28日 年末休業 始	1日 B型肝炎抗体検査（医・菌） 3日 G-mailにて新入生再検呼出送信 5日 在校生 8日 B型肝炎抗体検査（医・菌） 12・15日 T-SPOT・TB検査（医・菌） 25日 冬季休業 始	7～18日 職員追加健康診断 留学生未受診者健康診断
1月	3日 年始休業 終 16・17日 大学入試センター試験救護所開設 13・19・26日 生涯看護実習（各日2名） 30・31日 AO・推薦入試救護所開設	7日 冬季休業 終 29日 鹿田懇談会	
2月	1日 AO・推薦入試救護所開設 2日 生涯看護実習（各日2名） 25・26日 一般入試（前期）救護所開設	18日 保健管理センター 講演会（メンタル・フィジカル）	
3月	12日 一般入試（後期）救護所開設 17・18日 フィジカルヘルスフォーラム（金沢） 25日 学位記等授与式	2/29～3/3 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断 24日 B型肝炎ワクチン接種（薬）3回目	3日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 24日 給食業務従事者健診

2016 (平成28) 年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 鹿田新入生オリエンテーション 2日 入学式、センターオリエンテーション	5・6・8・9・ 新入生定期健康診断 (5日間) 12日 (AM) (医・菌・養護のみ各種抗体検査) 11～26日 在校生定期健康診断 (土日除く12日間) (Ⅱ部:1日のみ16:30～17:30実施) 28日 I R 取 扱 者 健 康 診 断	
5月		10～12日 鹿田地区健康診断 〃 B型肝炎抗体検査 (医・菌) 在校生 〃 T-SPOT・TB検査 (医・菌) 在校生 9日 健康診断書受付開始 16日 健康診断書発行開始 18日 B型肝炎ワクチン接種 (医・菌) 1回目 23日 健康診断結果web配信 (発行機証明書開始) 〃 新入生・在校生健康診断事後措置 30日 鹿田地区健康診断結果web配信	
6月		8日 追加健康診断 29日 B型肝炎ワクチン接種 (医・菌) 2回目 30日 追加健康診断結果web配信	15日 倉敷地区 胃検診
7月	3日 センター内防災訓練 9・10日 中国五大学学生競技救護所開設		19～22・25日 職員定期健康診断 (含給食業務従事者健診) 26～29日 津島地区 胃検診
8月	5・6日 オープンキャンパス 13～15日 夏季一斉休業 (職員) 18日 国際バカロレア入試救護所開設 24～26日 中・四国大学保健管理研究会 (広島)	1日 夏季休業 始 27日 B型肝炎ワクチン接種 (薬) 1回目 〃 夏季休業 終 27～30日 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断 13日 I R 取 扱 者 健 康 診 断	1日 津島地区 胃検診 2日 乳がん検診 3日 子宮がん検診 5日 東山・平井地区 胃検診 21日 健診結果個人通知 事後措置開始
9月	3・4・10・11日 中国五大学学生競技救護所開設 (電話にて対応)		8日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 26日 ストレスチェック実施
10月	5・6日 全国大学保健管理研究会 (大阪) 22日 ホームカミングデイ救護所開設 22日 開学記念日 29・30日 AO入試 (MP) 救護所開設	19日 留学生及び後期入学者健康診断 19日 B型肝炎ワクチン接種 (医・菌) 3回目 26日 B型肝炎ワクチン接種 (薬) 2回目 26～28日 インフルワクチン接種 (医・菌)	19・20日 追加健康診断
11月	4～6日 大学祭 (津島・鹿田地区) 11日 全学防災訓練センター内防災訓練	19日 後期入学者健診結果web配信	21日 追加健康診断結果通知
12月	3日 AO・推薦入試救護所開設 28日 年末休業 始 4日 年始休業 終	3日 G-mailにて新入生再検呼出送信 5日 〃 在校生 〃 20・21日 B型肝炎抗体検査 (医・菌) 25日 冬季休業 始 8日 冬季休業 終	15日 職員追々加健康診断
1月	14・15日 大学入試センター試験救護所開設 24日 生涯看護実習 (各日2名) 28・29日 AO・推薦入試救護所開設		13日 高ストレス者面談実施終了
2月	8日 生涯看護実習 (各日4名) 25・26日 一般入試 (前期) 救護所開設	13日 B型肝炎ワクチン接種 (薬) 3回目 16日 保健管理センター 17日 鹿田懇親会	講演会 (メンタル・フィジカル) 20日 D・E判定者再通知 (健診事後措置)
3月	12日 一般入試 (後期) 救護所開設 16・17日 フィジカルヘルスフォーラム (長崎) 24日 学位記等授与式	2/28～3/3 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断	2日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 29日 給食業務従事者健診



2017 (平成29) 年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	2日 入学式、センターオリエンテーション 鹿田新入生オリエンテーション	3～6・8日 新入生定期健康診断(5日間) (医・菌・養護のみ各種抗体検査) 10～25日 在校生定期健康診断(土日除く12日間) (Ⅱ部:1日のみ16:30～17:30実施) 27日 放射線業務従事者等健康診断	
5月		8日 健康診断書受付開始 9～11日 鹿田地区健康診断 B型肝炎抗体検査(医・菌)在校生 15日 健康診断書発行開始 16・17日 B型肝炎ワクチン接種(医・菌)1回目 26日 健康診断結果web配信(発行機証明書開始) 新入生・在校生健康診断事後措置 鹿田地区健康診断結果web配信	
6月	17・18日 中国五大学学生競技救護所開設	7日 追加健康診断 21日 B型肝炎ワクチン接種(医)2回目 23日 B型肝炎ワクチン接種(菌)2回目 30日 追加健康診断結果web配信	14日 倉敷地区 胃検診 23日 熱中症講習会
7月	3日 センター内防災訓練		18～21・24日 職員定期健康診断 (含給食業務従事者健診) 津島地区 胃検診 25～28・31日
8月	5・6日 オープンキャンパス 14～16日 夏季一斉休業(職員) 22・23日 中国五大学学生競技救護所開設 23～25日 中・四国大学保健管理研究集会(高知)	1日 夏季休業 始	1日 乳がん検診 2日 子宮がん検診 4日 東山・平井地区 胃検診 22日 健診結果個人通知 事後措置開始
9月	11・12・17日 中国五大学学生競技救護所開設(電話にて対応)	26～29日 特 定 28日 薬学部3年生抗体検査結果説明 29日 B型肝炎ワクチン接種(薬)1回目 夏季休業 終	11日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 健康診断 22～10/2 ストレスチェック(鹿田地区以外)
10月	21日 ホームカミングデイ救護所開設 22日 開学記念日 28・29日 AO入試(MP)救護所開設	5・10日 放射線業務従事者等健康診断 17・18日 B型肝炎ワクチン接種(医・菌)3回目 18日 留学生及び後期入学者健康診断 25～27日 インフルワクチン接種(医・菌) 26日 B型肝炎ワクチン接種(薬)2回目	10～31日 ストレスチェック(鹿田地区) 19日 追加健康診断
11月	3・4日 大学祭(津島地区) 3～5日 大学祭(鹿田地区) 21日 全学防災訓練 センター内防災訓練 26日 ディスカバリー入試救護所開設 29・30日 全国大学保健管理研究集会(沖縄)	18日 後期入学者健診結果web配信	19日 追加健康診断結果通知
12月	2日 AO・推薦入試救護所開設 14・15日 全国大学メンタルヘルス学会(愛知) 28日 年末休業 始 4日 年始休業 終	3日 G-mailにて新入生再検呼出送信 5日 在校生 19・20日 B型肝炎抗体検査(医・菌) 25日 冬季休業 始 8日 冬季休業 終	19日 追々健康診断
1月	13・14日 大学入試センター試験救護所開設 27・28日 AO・推薦入試救護所開設	30日 鹿田懇親会	
2月	25・26日 一般入試(前期)救護所開設	7日 B型肝炎ワクチン接種(薬)3回目 22日 保健管理センター	12日 D・E判定者再通知(健診事後措置) 講演会(メンタル・フィジカル)
3月	12日 一般入試(後期)救護所開設 15・16日 フィジカルヘルスフォーラム(京都) 23日 学位記等授与式	2/26～3/1 特 定	15日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 30日 給食業務従事者健診

2018 (平成30) 年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	2日 入学式 鹿田新入生オリエンテーション	3～7日 新入生定期健康診断 (5日間) (医・歯・養護のみ各種抗体検査) 9～25日 在校生定期健康診断 (Ⅱ部:1日のみ16:30～17:30実施) 26日 放射線業務従事者等健康診断	
5月		1・2・7日 鹿田地区健康診断 10日～ 健康診断書受付開始 17日～ 健康診断書発行開始 25日 健康診断結果web配信 (発行機証明書開始) 新入生・在校生健康診断事後措置	
6月		2日 鹿田地区健康診断結果web配信 7日 追加健康診断 13・15日 B型肝炎ワクチン接種 (医・歯) 1回目 25日 追加健康診断結果web配信	12日 倉敷地区 胃検診
7月	2日 センター内防災訓練	11・13日 B型肝炎ワクチン接種 (医・歯) 2回目	23～27日 職員定期健康診断 (含給食業務従事者健診) 30日～8/3 津島地区 胃検診
8月	9・10日 オープンキャンパス 13～15日 夏季一斉休業 (職員) 24日 国際バカロレア入試救護所開設 29～31日 中・四国大学保健管理研究会 (鳥取)	1日 夏季休業 始	6日 子宮がん検診 7日 乳がん検診 9日 東山・平井地区 胃検診 31日 健診結果個人通知 事後措置開始
9月		25～28日 特 定 26・28日 B型肝炎ワクチン接種 (薬) 1回目 30日 夏季休業 終	8/27～9/14 ストレスチェック 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断
10月	3・4日 全国大学保健管理研究会 (東京) 13・14日 ディスカバリー入試救護所開設 20日 ホームカミングデイ救護所開設 22日 開学記念日 27・28日 中国五大学学生競技救護所開設	11・23日 放射線業務従事者等健康診断 17日 留学生及び後期入学者健康診断 29日 B型肝炎ワクチン接種 (薬) 2回目 30日～11/1 インフルワクチン接種 (医・歯)	18日 追加健康診断
11月	2～4日 大学祭 (津島・鹿田地区) 8日 全学防災訓練センター内防災訓練 10・17・18日 中国五大学学生競技救護所開設	14・16日 B型肝炎ワクチン接種 (医・歯) 3回目 17日 後期入学者健診結果web配信	18日 追加健康診断結果通知 21日 ストレスチェック結果送付
12月	1日 AO・推薦入試救護所開設 6・7日 全国大学メンタルヘルス学会 28日 年末休業 始 4日 年始休業 終	3日 G-mailにて新入生再検呼出送信 5日 在校生 25日 冬季休業 始 8日 冬季休業 終	13日 追々健康診断
1月	19・20日 大学入試センター試験救護所開設		
2月	2・3日 AO・推薦入試救護所開設 25・26日 一般入試 (前期) 救護所開設	6日 〃 15日 放射線業務従事者等健康診断 (医) 鹿田懇親会 18日 保健管理センター	12日 D・E判定者再通知 (健診事後措置) 講演会 (メンタル・フィジカル)
3月	12日 一般入試 (後期) 救護所開設 13～15日 フィジカルヘルスフォーラム (山形) 25日 学位記等授与式	2/27～3/1・3/4 特 定 ・ 特 殊 健 康 診 断	5日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 26日 給食業務従事者健診

2019 (平成31, 令和元) 年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	2日 入学式 鹿田新入生オリエンテーション	3～7日 新入生定期健康診断 (医・菌・養護のみ各種抗体検査) 9～26日 在校生定期健康診断	
5月		7日 健康診断書受付開始 8～10日 鹿田地区健康診断 16・20日 放射線業務従事者等健康診断 24日 健康診断書発行開始 26日 健康診断結果web配信(発行機証明書開始) 新入生・在校生健康診断事後措置	
6月	18・19日 ワンゲル部救急法講習会 24日～7/5 養護教諭養成課程実習 1日 センター内防災訓練	2日 鹿田地区健康診断結果web配信 11・12日 追加健康診断 18・19・21日 B型肝炎ワクチン接種(医・菌)1回目	10日 倉敷地区 胃検診 17日 グッドジョブ熱中症講習会
7月		1日 追加健康診断結果web配信 1・4・8日 B型肝炎ワクチン(薬)1回目 16・17・19日 B型肝炎ワクチン(医・菌)2回目	19・22～25日 職員定期健康診断 (含給食業務従事者健診) 29日～8/2 津島地区 胃検診 ストレスチェック(津島地区)
8月	10・11日 オープンキャンパス 14～16日 夏季一斉休業(職員) 23日 国際バカロレア入試救護所開設 28～30日 中・四国大学保健管理研究集会(愛媛)	1日 夏季休業 始 10日 B型肝炎ワクチン接種(薬)2回目	6日 子宮がん検診 7日 乳がん検診 8日 東山・平井地区 胃検診 19～30日 ストレスチェック(鹿田地区) 29日 健診結果個人通知 事後措置開始
9月		17～20日 特 定 30日 夏季休業 終	12日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 特 殊 健 康 診 断
10月	9・10日 全国大学保健管理研究集会(北海道) 19・20日 ディスカバリー入試救護所開設 22日 開学記念日 26日 ホームカミングデイ救護所開設	3・15日 放射線業務従事者等健康診断 16・21日 留学生及び後期入学者健康診断 26・27・29日 B型肝炎ワクチン接種(医・菌)3回目 30日～11/1 インフルワクチン接種(医・菌)	17日 追加健康診断
11月	2～4日 大学祭(津島・鹿田地区) 7日 全学防災訓練センター内防災訓練 30日・12/1 AO推薦入試救護所開設	14日 インフルワクチン接種(薬) 16日 後期入学者健診結果web配信	17日 追加健康診断結果通知
12月	27日 年末休業 始 4日 年始休業 終	3日 G-mailにて新入生再検呼出送信 5日 在校生 25日 冬季休業 始	16日 追々加健康診断
1月	18・19日 大学入試センター試験救護所開設 31日 AO・推薦入試救護所開設	7日 鹿田懇親会 8日 冬季休業 終 10日 B型肝炎ワクチン接種(薬)3回目 21・22・24日 B型肝炎抗体検査(医・菌)	
2月	1・2日 AO・推薦入試救護所開設 25・26日 一般入試(前期)救護所開設	5日 放射線業務従事者等健康診断(医) 10日 B型肝炎抗体検査(薬) 13・17日 保健管理センター 18～21日 特 定	12日 D・E判定者再通知(健診事後措置) 講演会(メンタル・フィジカル) 特 殊 健 康 診 断
3月	12日 一般入試(後期)救護所開設 18・19日 フィジカルヘルスフォーラム(山口) 25日 学位記等授与式	24～26日 教育学部介護体験予定者健康診断	19日 メンタルヘルスクライシスマネジメント 24日 給食業務従事者健診

## (2) 保健管理センター利用状況

保健管理センターの5年間の利用状況を健康診断・事後措置、健康相談等に分類して下表に示した。

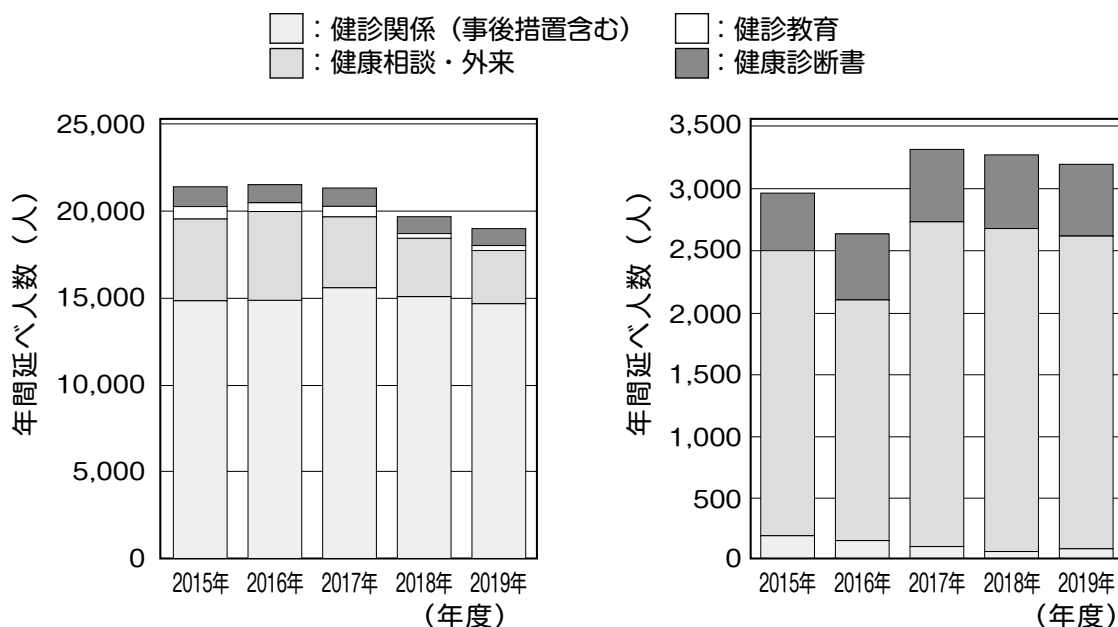
/年度	保健管理センター（津島地区）					保健管理センター鹿田室（鹿田地区）				
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
定期健康診断	10,995	10,954	11,576	11,434	11,229	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)
特別健康診断	2,385	2,684	2,782	2,626	2,709	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)
健診事後措置	1,437	1,202	1,205	994	709	183	144	96	56	78
健康相談及び外来	4,701	5,109	4,077	3,353	3,059	2,295	1,937	2,614	2,600	2,517
健康教育	716	504	606	274	285	0	0	0	0	0
健康診断書 (枚数)	1,140	1,040	1,055	972	976	463	532	583	593	578
	2,677	2,063	2,317	2,261	1,867	499	572	608	762	719
合計(延べ人数)	21,374	21,493	21,301	19,653	18,967	2,941	2,613	3,293	3,249	3,173

\*1 津島地区で集計

### 保健管理センター利用状況の年次推移 ～2015年度から2019年度～

#### 保健管理センター（津島地区）

#### 保健管理センター鹿田室（鹿田地区）



保健管理センター（津島地区）においては年間延べ20,000名余りの学生、職員が保健管理センターを訪れており、一日平均で100名程度の来所者数となる。2014年までの5年間は健康相談・外来を中心に減少傾向で、2014年には全体で20,999名まで減少していた。その後やや回復した後、再び減少に転じている。内訳からは健康診断と健康相談・外来受診者数の変動によるものである事が分かる。学生の健康診断の受診率が低い状況が続いていたことから、所属部局とも協働してさらに受診勧奨に努めた。その結果、受診者数はやや増加した後、再び低下傾向にあり再度の受診勧奨策が必要である。また、健康相談・外来受診者数は2016年度から導入された60分授業が影響している可能性がある。

## ○日常業務

日常業務としては、午前8時30分から午後5時まで、基本的に休み時間なしで常に外来の窓口を開けている。外来は常勤医・学校医の協力のもとに行われているが、内科が主体で、次いでメンタルが続く。また、保健師による保健指導、外傷処置も重要な業務である。専門外来として主として岡山大学病院から派遣された医師を中心に、各科の診療・相談が出来る体制としていたが、年々派遣が困難な状況となり、眼科は2016年度で終了となり近隣の医療機関に紹介している。

津島地区では2016年度から4学期・60分制の授業体制が導入されており、受診者数の減少に関係していると考えられる。

/年度	保健管理センター（津島地区）					保健管理センター鹿田室（鹿田地区）				
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
内 科	3,207	3,256	3,069	2,474	2,149	679	732	487	618	487
眼 科	7	5								
耳 鼻 咽 喉 科	10	15	17	11	11					
歯 科	104	146	179	121	119					
精 神 神 経 科	1,257	1,540	1,488	1,030	1,171	538	446	472	387	533
皮 膚 科	65	75	92	57	48					
整 形 外 科	77	58	94	104	95					
婦 人 科	25	61	41	65	49					
保 健 指 導	2,333	1,645	1,746	1,552	1,268	2,553	2,292	1,612	1,651	1,575
栄 養 指 導	87	14	34	10	8					
外 傷 処 置	511	496	506	352	330	50	60	44	49	44
休 養 室 の 利 用	102	113	109	88	82	45	40	32	32	15
医 療 機 関 へ の 紹 介	1,223	831	976	772	715	192	130	118	157	111
合 計 (延 べ 人 数)	7,683	7,311	7,266	5,776	5,248	4,057	3,530	2,615	2,705	2,639

## ○日常検査件数

当センターの外来で行っている検査（定期健康診断は除く）を項目別に示した。健康診断で異常を指摘された際の事後措置・再検査が中心であるが、外来相談・診療などで必要な場合には、心電図、血液一般検査、超音波検査などを随時行っている。血液検査に関しては、検査機器の維持・精度管理、検査試薬などの費用がかさむこともあり、2019年度より外部委託に移行した。

検査（定期健康診断を除く）

/年度	合 計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
尿 検 査	2,870	651	587	699	520	413	194	191	197	169	201
血 液 一 般 検 査	191	57	57	50	26	1					
心 電 図 検 査	165	54	36	22	34	19	0	0	0	0	0
負 荷 心 電 図 検 査	3	2	0	0	1	0					
体 脂 肪 率 測 定	342	186	72	28	30	26					
超 音 波 断 層 検 査	259	93	69	34	45	18	0	0	0	0	0
聴 力 検 査	72	22	20	4	16	10					
胸 部 X 線 撮 影	416	25	125	114	119	33					
腹 囲 測 定	10	1	2	2	1	4					
C O 測 定	11	6	2	1	0	2					
骨 密 度 測 定	0	0	0	0	0	0					

鹿田室の血液生化学検査の外注検査は除く

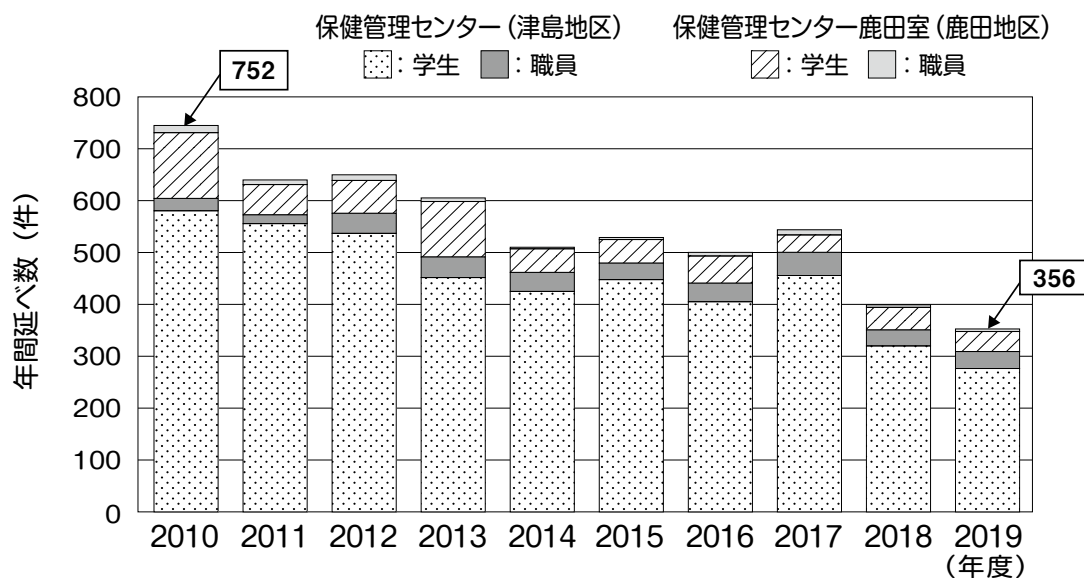
## ○センターに来所した外傷件数とその内訳

当センターに来所して外傷処置を受けた職員・学生の件数とその内訳の推移を示す。外傷件数は前回の5年に続いて全体として減少傾向にあるが、その理由として労働安全衛生活動・教育活動の成果と考える。職員に比較して学生がほとんどであり、学生においては学外での受傷が以前は多かったが、ここ5年間は通学中の受傷が最多となっている。約8%に実験・実習中の事故もみられ、留学生も増加して

いることから、あらためて注意喚起と指導が必要と考える。職員の受傷の約半数は学内あるいは通勤中に生じているが、その数は学生に比較して少ない。

/年度		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計		
							数	%	
総数（学生+職員）		490	444	502	356	312	2104	100.0%	
学	学生総数	452	409	460	323	279	1923	91.4%	
	1.学部生	379	329	345	242	212	1507	78.4%	
	2.院生	42	44	45	30	26	187	9.7%	
	3.留学生	31	36	70	47	41	225	11.7%	
	未記入	0	0	0	4	0	4	0.2%	
性 別	男	233	201	243	168	143	988	51.4%	
	女	219	208	217	155	136	935	48.6%	
生	受傷時何をしていたか	①体育実習中	26	23	20	20	17	106	5.5%
		②課外活動中	75	68	83	43	41	310	16.1%
		③実験実習中	40	33	32	30	19	154	8.0%
		④学内その他	62	43	52	46	34	237	12.3%
		⑤通学・通勤中	127	107	102	104	86	526	27.4%
		⑥学外	71	72	110	59	47	359	18.7%
		⑦その他	51	63	61	54	36	265	17.6%
職	職員総数	38	35	42	33	33	181	8.6%	
	性 別	男	22	16	21	19	18	96	53.0%
女		16	19	21	14	15	85	47.0%	
員	受傷時何をしていたか	①体育実習中	0	0	0	0	0	0	0.0%
		②課外活動中	1	0	0	2	0	3	1.7%
		③実験実習中	0	3	1	1	0	5	2.8%
		④学内その他	18	14	15	12	16	75	41.4%
		⑤通学・通勤中	9	6	10	4	4	33	18.2%
		⑥学外	7	2	5	3	1	18	9.9%
		⑦その他	3	10	11	11	12	47	26.0%

センターでの外傷処置数の年次推移  
～学生・職員別，地区別10年間の推移～



外傷処置件数はここ10年間年々減少傾向にあるが、2008年度以降に導入した湿潤療法など外傷処置方法の変化で再来する必要が少なくなり、自宅での処置を指導することに重点を置いていることも来所者減少の一因と考えられる。2018年度以降は学生の受診者数の減少が目立ち、授業時間の変更などの影響も考えられる。

### (3) 定期健康診断

当センターでは、岡山大学在籍全学生と、労働安全衛生法に従って健康管理を任されている職員（津島地区、東山地区、平井地区、倉敷地区）を対象として健康診断を実施し、健康教育や健康の保持・増進に努めている。受診対象者の総数は下表のごとく、2015年度から2019年度まで、ほぼ横ばいであるが、労働安全衛生法による特殊健診がこれに加わり、健康診断業務の拡大に対応する体制の充実は、引き続き保健管理センター業務の重要な課題と考える。

学生健康診断への予約制の導入は第3期中期目標・中期計画の目標であり、予約制導入施設の状況や予約システムの調査、情報統括センターとの協議を経て学内で予約システムを開発した。2018年度には予約制を追加健診で試行し、2019年度より本格導入を行うとともに検証を行った。その後、コロナ禍の影響もあり、2020年度より職員健康診断にも予約制を導入している。予約制に関する利用者の評価は概ね良好であり、予約システムの開発に尽力いただいた情報統括センターの関係者にこの場を借りてお礼を申し上げたい。

#### ○健康診断受診対象者

学部など／年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
合計（人数）	15,439	15,458	15,509	15,470	15,381
学部学生（夜間主含む）	10,154	10,073	10,094	10,053	9,986
法・経済Ⅱ部	0	0	0	0	0
大学院	2,641	2,598	2,591	2,573	2,480
別科・特別専攻科	50	44	41	52	47
留学生	714	892	953	1,013	1,108
職員*	1,880	1,851	1,830	1,779	1,760

\*職員：岡山大学津島地区、東山地区、平井地区、倉敷地区の職員（非常勤を含む）

#### ①学生健康診断

以下に昼間部学部新入生の入学時健康診断内容・結果について年度別に示す。

#### 身体組成測定に関して

身体組成の測定として、身長・体重を測定している。2017年までは体脂肪率も測定していたが、2018年より健診の時間短縮のため中止とした。この5年間で、身長、体重、BMIに関して男女とも著しい変化は見られない。BMIによる肥満者の頻度は、過去5年間で一定の傾向はない。

#### ○新入生（学部学生）の身長、体重、BMIの年次推移

年度	男				女			
	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	BMI	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	BMI
2015年	1,295	170.7 ±7.3	61.9 ±9.9	21.2 ±3.2	939	158.3 ±5.3	51.0 ±6.7	20.4 ±2.5
2016年	1,207	171.2 ±5.9	61.7 ±9.6	21.0 ±2.9	1,003	158.0 ±5.3	51.3 ±7.1	20.5 ±2.5
2017年	1,228	171.1 ±5.7	61.5 ±9.5	21.0 ±2.8	961	158.1 ±5.2	51.3 ±6.8	20.5 ±2.4
2018年	1,208	170.9 ±5.9	61.8 ±9.5	21.2 ±3.0	982	157.6 ±5.4	51.1 ±7.1	20.5 ±2.6
2019年	1,263	170.9 ±5.9	61.3 ±9.4	21.0 ±3.0	918	157.4 ±5.5	51.1 ±7.1	20.6 ±2.5

平均値±標準偏差

○新入生（学部学生）のBMI判定による体型の分類

年度	男						女					
	体 型 BMI	やせすぎ ～ 16.9	やせぎみ 17～18.9	ふつう 19～22.9	ふとりぎみ 23～24.9	肥満 25～	体 型 BMI	やせすぎ ～ 16.9	やせぎみ 17～18.9	ふつう 19～22.9	ふとりぎみ 23～24.9	肥満 25～
2015年 頻度 (%)	1,295	57 4.4	239 18.5	704 54.4	163 12.6	132 10.2	939	43 4.6	242 25.8	533 56.8	77 8.2	44 4.7
2016年 頻度 (%)	1,207	50 4.1	252 20.9	646 53.5	155 12.8	104 8.6	1,003	31 3.1	242 24.1	586 58.4	100 10.0	44 4.4
2017年 頻度 (%)	1,231	44 3.6	230 18.7	712 58.0	147 12.0	95 7.7	961	44 4.6	200 20.8	574 59.7	99 10.3	44 4.6
2018年 頻度 (%)	1,208	44 3.6	226 18.7	679 56.2	135 11.2	124 10.3	982	48 4.9	211 21.5	597 60.8	72 7.3	54 5.5
2019年 頻度 (%)	1,263	57 4.5	251 19.9	708 56.1	132 10.5	115 9.1	918	44 4.8	195 21.2	541 58.9	91 9.9	47 5.1

○新入生（学部学生）の体脂肪率による肥満者の推移

年度	男			女		
	人数 [%]	体脂肪率		人数 [%]	体脂肪率	
		m ± SD	肥満		m ± SD	肥満
2015年	1,327	18.0 ±5.6	115 [8.7]	973	26.1 ±5.4	186 [19.1]
2016年	1,241	17.2 ±5.2	101 [8.1]	1,053	25.6 ±5.4	203 [19.3]
2017年	1,290	17.9 ±5.6	104 [8.1]	1,018	27.0 ±5.4	243 [23.9]
2018年	2018年以降測定なし			2018年以降測定なし		
2019年						

BIA法：TANITA, TBF-202

肥満判定：男 25%，女 30%以上

血圧に関して

一次検診では自動血圧計を用いて血圧測定を行い、収縮期血圧140 mmHg以上かつ/または拡張期血圧90 mmHg以上を二次検診対象者とした。一次検診で高血圧と判定された者は2010年度から2014年度の5年間（6.4%）と比較して、全体で4.6%と低くなっている。いずれも健診時の白衣高血圧がかなりの頻度を占め、自動血圧計と水銀血圧計を併用して測定する二次検診において最終的に高血圧と判断されたものは、この5年間の平均で0.9%と、前回の5年間の1.1%からやや減少している。2次検診で高血圧と判定された学生に対しては、生活指導及び経時的な血圧測定により経過観察し、問題があると考えられる場合は病院を紹介した。

○学生健診における血圧測定のまとめ（5年間の集計）

対象者/学部など	合 計	昼間部学部	大学院	夜間主 (Ⅱ部含む)	留学生
対象者	63,701	49,166	13,147	1,388	4,691
受検者数	45,204	37,847	6,572	785	3,572
受検率	71.0%	77.0%	50.0%	56.6%	76.1%
一次検診					
140 and/or 90以上	2,080	1,608	424	48	234
受検者中の頻度	4.6%	4.2%	6.5%	6.1%	6.6%
二次検診受検者	1,995	1,541	407	47	224
二次検診受検率	95.9%	95.8%	96.0%	97.9%	95.7%
高血圧	419	324	87	8	49
受検者中の頻度	0.9%	0.9%	1.3%	1.0%	1.4%



## ○年度別血圧測定まとめ

年度別血圧測定のとまとめ（昼間部学部学生、夜間主コース含まない）（秋期健診含む）

対象者/年度	新入生						在校生					
	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対象者	11,036	2,212	2,225	2,196	2,224	2,179	38,130	7,659	7,659	7,619	7,667	7,526
受検者数	10,982	2,211	2,213	2,195	2,191	2,172	26,865	5,254	5,150	5,671	5,499	5,291
受検率	99.5%	99.95%	99.5%	100.0%	98.5%	99.7%	70.5%	68.6%	67.2%	74.4%	71.7%	70.3%
一次検診 140and/or90以上 受検者中の頻度	477 4.3%	110 5.0%	75 3.4%	91 4.1%	109 5.0%	92 4.2%	1,131 4.2%	173 3.3%	205 4.0%	235 4.1%	263 4.8%	255 4.8%
二次検診受検者	457	110	75	87	101	84	1,084	168	186	227	248	255
二次検診受検率	95.8%	100.0%	100.0%	95.6%	92.7%	91.3%	95.8%	97.1%	90.7%	96.6%	94.3%	100.0%
高血圧 受検者中の頻度	106 1.0%	25 1.1%	36 1.6%	17 0.8%	15 0.7%	13 0.6%	218 0.8%	66 1.3%	48 0.9%	35 0.6%	35 0.6%	34 0.6%

一次検診：自動血圧計

二次検診：自動血圧計、水銀血圧計

## 尿検査について

尿検査に関しては一次検診として新入生は早朝尿、在校生は随時尿を用い、試験紙法により蛋白、潜血、糖を判定し、いずれも1+以上を異常（陽性）者として呼び出して再検を行っている。二次検尿は蛋白、潜血に関しては早朝尿、来所時尿について尿沈渣を含めて当センターで再検し、必要と認めた場合には腎臓専門病院に紹介し、尿糖に関しては、既往や家族歴などを問診の上、原則として当センターにて随時血糖とHbA1cを測定している。

5年間の平均で、尿蛋白陽性者は2.0%、尿潜血陽性者は3.5%、両者陽性が0.2%程度に認められる。尿蛋白陽性者は、2010年～2014年度の平均2.5%からやや減少している。二次検尿では大多数の学生が運動性の蛋白尿あるいは血尿（血色素尿）と診断される。再検時の検尿異常者は、精査のため病院を紹介しているが、二次検尿受検者中の異常者の頻度（新入生9.7%、在校生10.8%）は、過去5年（新入生5.9%、在校生6.6%）に比較してやや上昇している。

## ○尿蛋白・潜血

対象者/学部など	合計	昼間部	大学院	夜間主 (Ⅱ部含む)	留学生
対象者	63,679	49,056	13,235	1,388	4,692
受検者数	42,131	35,233	6,192	706	3,413
受検率	66.2%	71.8%	46.8%	50.9%	72.7%
一次検尿 異常者合計	2,406	1,901	457	48	395
受検者中の頻度	5.7%	5.4%	7.4%	6.8%	11.6%
蛋白のみ陽性 受検者中の頻度	845 2.0%	710 2.0%	119 1.9%	16 2.3%	60 1.8%
潜血のみ陽性 受検者中の頻度	1,472 3.5%	1,126 3.2%	317 5.1%	29 4.1%	326 9.6%
両者陽性 受検者中の頻度	89 0.2%	65 0.2%	21 0.3%	3 0.4%	9 0.3%

## ○尿蛋白・潜血陽性者の年次推移

年度別検尿検査（潜血・蛋白）のまとめ（昼間部学部学生）夜間主を除く

対象者/年度	新 入 生						在 校 生					
	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対象者数	11,014	2,212	2,225	2,196	2,193	2,188	38,042	7,659	7,659	7,619	7,579	7,526
受検者数	10,672	2,145	2,166	2,132	2,124	2,105	24,561	4,823	4,741	5,214	5,011	4,772
受検率	96.9%	97.0%	97.3%	97.1%	96.9%	96.2%	64.6%	63.0%	61.9%	68.4%	66.1%	63.4%
一次検尿												
異常者数合計	361	99	75	79	50	58	1,540	320	283	361	283	293
受検者中の頻度	3.4%	4.6%	3.5%	3.7%	2.4%	2.8%	6.3%	6.6%	6.0%	6.9%	5.6%	6.1%
蛋白のみ陽性者数	233	66	53	57	23	34	477	108	77	118	84	90
潜血のみ陽性者数	117	30	16	22	26	23	1,009	200	198	231	182	198
両者陽性者数	11	3	6	0	1	1	54	12	8	12	17	5
二次検尿												
二次検尿受検者数	139	34	33	31	23	18	679	166	153	178	109	73
二次検尿受検者率	38.5%	34.3%	44.0%	39.2%	46.0%	31.0%	44.1%	51.9%	54.1%	49.3%	38.5%	24.9%
二次異常者合計	35	7	7	6	9	6	166	31	38	56	27	14
受検者中の頻度	9.7%	7.1%	9.3%	7.6%	18.0%	10.3%	10.8%	9.7%	13.4%	15.5%	9.5%	4.8%
蛋白のみ陽性者数	8	2	2	2	0	2	26	4	3	11	4	4
潜血のみ陽性者数	26	5	5	3	9	4	134	26	33	44	21	10
両者陽性者数	1	0	0	1	0	0	6	1	2	1	2	0

一次検尿：新入生は早朝尿，在校生は随時尿

## ○尿糖

5年間の平均尿糖陽性者は0.5%であり，2010～2014年度の平均0.7%から低下が見られる。尿糖陽性者については空腹時血糖およびHbA1cを測定しており，その結果では大多数が正常であり腎性尿糖の可能性が高い。耐糖能異常あるいは糖尿病型を示す学生もわずかながら認められる。これらの学生に関しては，病院に紹介することを原則としている。また，表にはないが，1型糖尿病の学生も少数ではあるが入学してきており，これらの学生に対しては病状照会および指導を行うのみとして，当センターでは精密検査は行っていない。

対象者/学部など	合計	昼間部	大学院	夜間主 (Ⅱ部含む)	留学生
対象者	63,679	49,056	13,235	1,388	4,692
受検者数	42,131	35,233	6,192	706	3,413
受検率	66.2%	71.8%	46.8%	50.9%	72.7%
一次検尿					
尿糖陽性者数	209	108	55	46	25
受検者中の頻度	0.5%	0.3%	0.9%	6.5%	0.7%

## 血液検査に関して

血液検査は、2015年度までは新入生（留学生の場合は初回健康診断時）に対して施行していたが、学校保健安全法では健康診断の項目として血液検査が必須ではないこと、採血時に迷走神経反射を起こして意識消失、転倒が頻発したことから、2016年度からは新入生全員に対する血液検査は行っていない。現在は、大学病院実習に際して感染症情報の提出が必要とされている医歯薬学系新入生に対して、B型肝炎、結核の感染症検査に限定して採血検査を行っている。

そのため、本項目は2015年度の採血結果に限定して解説する。

### ○血液検査項目と正常値・事後措置

血液検査項目	単位	正常値	分類	事後措置
ALT値（GPT）	U/L	～40	41～49	肝機能異常に関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）*
			50～	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導、病院紹介 秋に再検
総コレステロール値	mg/dl	130～219	220～249	高脂血症に関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）*
			250～299	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導 秋に再検
			300～	医師説明・指導、病院紹介
LDLコレステロール値	mg/dl	40～139	140～159	コレステロールに関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）*
			160～219	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導 秋に再検
			220～	医師説明・指導、病院紹介
			～39	医師説明・指導
ヘモグロビン値	g/dl	男 13.5～17.0	13.1～13.5	貧血に関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）*
			12.5～13.0	医師説明・指導 秋に再検
			11.5～12.4	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導
		女 11.5～14.5	11.5未満	医師説明・指導、病院紹介、必要に応じ食事指導
			11.5～11.9	貧血に関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）
			11.0～11.4	医師説明・指導 秋に再検
尿酸値	mg/dl	3.5～7.5	10.0～10.9	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導
			10.0未満	医師説明・指導、病院紹介、必要に応じ食事指導
			7.6～7.9	高尿酸血症に関するパンフレットを渡す（希望者のみ秋に再検）*
			～2.0, 8.0～8.9	医師説明・指導 秋に再検
			9.0～9.9	医師説明・指導、必要に応じ再検査・食事指導
			10.0～	医師説明・指導、病院紹介、必要に応じ生活指導（食事・運動等）

\*但しBMI 18未満あるいは30以上、体調の悪い者は医師へ  
平成23年度より総コレステロールに替えてLDLコレステロールを測定  
尿酸は男子のみで測定

### ○新入生健康診断（学部学生）血液検査の結果：対象者数

2015年度の新入生健康診断時の血液検査施行者は2,236名、対象者の97.3%と多くの学生が血液検査を受けた。血液検査は本人の承諾を問診票に記載した上で行っており、予め採血時の気分不良を起こしやすいなどで検査が出来ない一部の学生は除外された。

血液検査各項目については、結果のみの提示とする。

対象者/年度	2015年
対象者数	2,299
受検者数	2,236
受検率	97.3%
男	1,289
女	947

2016年以降は血液検査の実施はない。

○ALT (GPT) 値

対象者/年度	2015年
異常者数 (ALT $\geq$ 41 U/L)	148
受検者中の頻度	6.6%
男	130
受検者中の頻度	10.1%
女	18
受検者中の頻度	1.9%

○LDL コレステロール値

対象者/年度	2015年
男平均値	101
女平均値	102
$\geq$ 140 mg/dl 人数	167
受検者中の頻度	7.4%
$\geq$ 140 mg/dl	
男	93
受検者中の頻度	7.2%
女	74
受検者中の頻度	7.7%

○尿酸値：男

対象者/年度	2015年
平均値	5.8
$\geq$ 7.0 mg/dl 人数	133
受検者中の頻度	10.3%

○ヘモグロビン (Hb) 値

・男

対象者/年度	2015年
平均値	15.6
<13.5 g/dl 人数	12
受検者中の頻度	0.9%
$\leq$ 12.9 g/dl 人数	3
受検者中の頻度	0.2%

・女

対象者/年度	2015年
平均値	13.4
<12 g/dl 人数	56
受検者中の頻度	5.9%
$\leq$ 11.4 g/dl 人数	31
受検者中の頻度	3.2%

## 胸部レントゲン検査に関して

胸部レントゲン検査は学校保健安全法に基づき、新入生は全員に、在校生に関しては希望者に行う事を原則としている。ただ、在校生の胸部レントゲン撮影は、現実的には健診受診者のほぼ全員が検査を受けている。妊娠、最近のレントゲン検査施行者などを除いてデジタル撮影装置を用いて直接撮影を行い、結果はダブルチェックで判定することを原則としている。

結核は2019年度に在校生で一例認めている。自然気胸は年間4例程度見られる。胸部腫瘍では縦隔腫瘍が多いが良性の者がほとんどである。

肺以外の疾患として心肥大や椎骨側弯なども積極的にチェックしており、肥満や心電図異常との関連を含めて指導あるいは治療に生かすよう努めている。

## ○胸部レントゲン異常者の頻度

対象者/年度	新入生						在校生					
	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対象者数	11,059	2,212	2,211	2,262	2,191	2,183	38,192	7,659	7,596	7,832	7,579	7,526
受検者数	11,034	2,198	2,211	2,253	2,190	2,182	26,955	5,251	5,156	5,766	5,493	5,289
受検率	99.8%	99.4%	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	70.6%	68.6%	67.9%	73.6%	72.5%	70.3%
一次検診 有所見者数	952	111	235	140	232	234	2917	360	725	465	629	738
受検者中の頻度	8.6%	5.1%	10.6%	6.2%	10.6%	10.7%	10.8%	6.9%	14.1%	8.1%	11.5%	14.0%
要精密検査者数	191	18	63	37	46	27	226	37	61	50	36	42
内数(肺)	(55)	(5)	(14)	(16)	(14)	(6)	(92)	(8)	(35)	(26)	(11)	(12)
内数(肺以外)	(119)	(13)	(49)	(21)	(32)	(4)	(110)	(29)	(26)	(24)	(25)	(6)
内数(問診)	(37)	(0)	(37)	(0)			(23)	(0)	(23)			
結核：未知	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
：既知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然気胸	9	2	3	0	2	2	10	2	2	1	0	5
良性腫瘍	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
急性肺炎	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0

## 心電図検査の年次推移

心電図検査は、問診にて過去に心疾患、心雑音、心電図異常を指摘された者や診察にて医師が必要と判断した者に対して施行し、循環器専門医の判定のもとに有所見者・要精密検査者を決定して事後措置を行っている。要精検者数に大きな変化は見られない。緊張に伴う頻脈などの例では当センターで再検を行う場合もあるが、基本的には循環器専門病院に紹介している。

## ○心電図有所見者の頻度

### 新入生(夜間主コース新入生を含む)

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	799	188	185	171	147	108
有所見者数	450	86	106	97	93	68
受検者中の頻度	56.3%	45.7%	57.3%	56.7%	63.3%	63.0%
要精検数	83	19	17	27	13	7
受検者中の頻度	10.4%	10.1%	9.2%	15.8%	8.8%	6.5%

## ②職員健康診断

津島地区, 東山地区, 平井地区, 倉敷地区の職員健康診断の受診率を, 定期健康診断と人間ドックに分け, 年度別に示した。2004年度の大学法人化以降, 全体の受診率が向上したが, 2019年度には低下が見られた。2010年～2014年度は当センターで健康診断を受診する者が65～70%程度, 人間ドックで健康診断を受診する者が25～30%であり, 当センターでの健康診断受診の人数, 割合が増加している。

### ○受診率

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
健診受診率*[%]	[92.8]	[92.2]	[92.8]	[93.3]	[94.0]	[86.0]
受診者/対象者	8,090 / 8,713	1,733 / 1,880	1,718 / 1,851	1,708 / 1,830	1,672 / 1,779	1,514 / 1,760
男	[91.6] 5,404 / 5,897	[92.5] 1,108 / 1,198	[92.4] 1,090 / 1,180	[92.1] 1,078 / 1,170	[92.8] 1,048 / 1,129	[83.5] 914 / 1,095
女	[95.4] 2,686 / 2,816	[91.6] 625 / 682	[93.6] 628 / 671	[95.5] 630 / 660	[96.0] 624 / 650	[90.2] 600 / 665
職員健診受診率[%]	[66.5]	[69.4]	[70.1]	[73.2]	[70.6]	[69.3]
受診者/対象者	5,794 / 8,713	1,305 / 1,880	1,298 / 1,851	1,278 / 1,747	1,256 / 1,779	1,219 / 1,760
男	[63.2] 3,727 / 5,897	[66.9] 801 / 1,198	[67.6] 798 / 1,180	[66.8] 781 / 1,170	[67.7] 764 / 1,129	[66.4] 727 / 1,095
女	[73.4] 2,067 / 2,816	[73.9] 504 / 682	[74.5] 500 / 671	[75.3] 497 / 660	[75.7] 492 / 650	[74.0] 492 / 665
人間ドック受診率[%]	[26.4]	[22.8]	[22.5]	[24.6]	[23.4]	[16.8]
受診者/対象者	2,296 / 8,713	428 / 1,880	417 / 1,851	430 / 1,747	416 / 1,779	295 / 1,760
男	[28.4] 1,677 / 5,897	[25.6] 307 / 1,198	[24.5] 289 / 1,180	[25.4] 297 / 1,170	[25.2] 284 / 1,129	[17.1] 187 / 1,095
女	[22.0] 619 / 2,816	[17.7] 121 / 682	[19.1] 128 / 671	[20.2] 133 / 660	[20.3] 132 / 650	[16.2] 108 / 665

\*：健康診断（職員健診または人間ドックのいずれかもしくは両方）を受診した割合

## 職員の身体組成測定に関して

この5年間で、職員の平均BMIには男女とも大きな変化はないが、2010年度からの過去10年の経過では、男女とも増加の傾向がみられる。

### ○身体組成の年次推移

対象者/年度	人数	平均BMI	低体重		ふつう		肥満		
			≤17.5	17.6～18.4	18.5～19.9	20.0～24.9	25.0～26.4	26.5≤	
男	全体(人数)	5,208	91	116	406	3,031	661	903	
	[%]		[1.7]	[2.2]	[7.8]	[58.2]	[12.7]	[17.3]	
	2015年	1098	19	25	86	654	148	166	
	[%]		[1.7]	[2.3]	[7.8]	[59.6]	[13.5]	[15.1]	
	2016年	1081	23.5	20	26	84	636	130	185
	[%]		[1.9]	[2.4]	[7.8]	[58.8]	[12.0]	[17.1]	
	2017年	1074	23.5	21	25	84	627	123	194
[%]		[2.0]	[2.3]	[7.8]	[58.4]	[11.5]	[18.1]		
2018年	1044	23.8	17	24	82	582	141	198	
[%]		[1.6]	[2.3]	[7.9]	[55.7]	[13.5]	[19.0]		
2019年	911	23.7	14	16	70	532	119	160	
[%]		[1.5]	[1.8]	[7.7]	[58.4]	[13.1]	[17.6]		
女	全体(人数)	3,090	274	266	608	1,525	170	247	
	[%]		[8.9]	[8.6]	[19.7]	[49.4]	[5.5]	[8.0]	
	2015年	620	21.4	63	48	131	300	35	43
	[%]		[10.2]	[7.7]	[21.1]	[48.4]	[5.6]	[6.9]	
	2016年	626	21.3	52	53	132	310	34	45
	[%]		[8.4]	[8.5]	[21.3]	[50.0]	[5.5]	[7.3]	
	2017年	626	21.6	56	61	127	306	29	47
[%]		[9.0]	[9.8]	[20.5]	[49.4]	[4.7]	[7.6]		
2018年	622	21.6	49	55	114	311	39	54	
[%]		[7.9]	[8.9]	[18.4]	[50.2]	[6.3]	[8.7]		
2019年	596	21.6	54	49	104	298	33	58	
[%]		[8.7]	[7.9]	[16.8]	[48.1]	[5.3]	[9.4]		

## 職員の血圧に関して

職員において高血圧（収縮期血圧140 mmHg以上かつ/または拡張期血圧90 mmHg以上）と判定された男性は11.0%，女性は2.2%であった。男性においては2017年以降頻度が低下している。女性においてはここ5年では一定の傾向を認めない。2010～2014年度では男性17.2%，女性4.4%であり、高血圧と診断される頻度が低下している。

### ○血圧検査（高血圧）の年次推移

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
男	受検者数	5,232	1,108	1,086	1,077	1,048	913
	140 and/or 90以上 受検者に対する率[%]	575 [11.0]	160 [14.4]	154 [14.2]	101 [9.4]	88 [8.4]	72 [7.9]
女	受検者数	3,098	625	627	628	622	596
	140 and/or 90以上 受検者に対する率[%]	68 [2.2]	18 [2.9]	17 [2.7]	8 [1.3]	10 [1.6]	15 [2.5]

## 職員の尿検査に関して

尿検査では蛋白、潜血の陽性者が9%程度に認められている。原則として再検を指示し、センターで尿沈渣を含めた早朝尿、来所時尿（2回検尿）の検査を指示している。尿糖陽性者に関しては、血液検査のHbA1cも参考に、糖尿病の可能性のある者には来所を指示し、病院受診の上、精査を原則としている。

### ○尿検査の年次推移

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	8,211	1,706	1,684	1,678	1,650	1,493
尿蛋白・潜血 異常者計	769	160	149	160	152	148
受検者に対する率	9.4%	9.4%	8.8%	9.5%	9.2%	9.9%
蛋白のみ陽性 受検者に対する率	108 1.3%	28 1.6%	23 1.4%	20 1.2%	19 1.2%	18 1.2%
潜血のみ陽性 受検者に対する率	625 7.6%	124 7.3%	120 7.1%	135 8.0%	126 7.6%	120 8.0%
両者陽性 受検者に対する率	36 0.4%	8 0.5%	6 0.4%	5 0.3%	7 0.4%	10 0.7%
尿糖陽性 受検者に対する率	149 1.8%	27 1.6%	23 1.4%	38 2.3%	33 2.0%	28 1.9%

## 職員の血液検査に関して

血液検査は労働安全衛生法の健診項目に準じて行っている。下表に受検者数を示す。

### ○血液検査受検者の年次推移

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	8,316	1,727	1,712	1,700	1,664	1,513
男	5,217	1,103	1,085	1,072	1,044	913
女	3,099	624	627	628	620	600

以下、当センターで行った血液検査結果（人間ドックの結果は除く）の経年的な推移を、異常値の出現頻度を中心に検査項目毎に示す。

### ○血清ALT（GPT）値

高ALT血症の頻度に一定の傾向は見られない。高ALT血症は女性の平均2.7%に比較して男性では12.9%と圧倒的に男性に高頻度で認められ、身体組成の項目で示したように、男性で肥満者が多いことも関係があると考えられる。また2010年～2014年度と比較すると男女とも高ALT血症の頻度が増加している。ALT値の基準値については脂肪肝などの拾い上げの観点から、より低値に設定することが提唱されており、今後の検討課題ではあるが、異常高値と判断される頻度が大幅に増加する可能性がある。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体高値者数	759 9.1%	153 8.9%	164 9.6%	162 9.5%	147 8.8%	133 8.8%
男 受検者に対する率	675 12.9%	141 12.8%	141 13.0%	149 13.9%	129 12.4%	115 12.6%
女 受検者に対する率	84 2.7%	12 1.9%	23 3.7%	13 2.1%	18 2.9%	18 3.0%

ALT値異常：≥43 U/L



### ○血清γ-GT (γ-GTP) 値

γ-GTの高値を認める者は5年間で男性18.1%,女性3.4%であり,2010年~2014年度の男性17.0%,女性1.9%と比較すると,γ-GT高値を認める者が増加している。アルコール性肝障害の側面については,問診時の飲酒歴などとあわせて健診時,事後措置の際に指導を行っている。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体高値者数	1,046 12.6%	224 13.0%	207 12.1%	223 13.1%	216 13.0%	176 11.6%
男	942	208	184	200	194	156
受検者に対する率	18.1%	18.9%	17.0%	18.7%	18.6%	17.1%
女	104	16	23	23	22	20
受検者に対する率	3.4%	2.6%	3.7%	3.7%	3.5%	3.3%

γ-GT値異常: ≥61 U/L

### ○血清総コレステロール (TC) 値

高TC血症の職員は,経年的には一定の傾向は認めないが,2010年~2014年度と比較すると高値を認める者が増加している。男女で比較すると,女性の方が平均値,高TC血症の頻度ともに高い傾向がある。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体高値者数	482 30.6%	107 31.4%	102 29.1%	111 33.3%	102 30.1%	60 28.0%
男	206.7	210.1	204.7	209.1	205.9	203.8
高値者数	335	80	70	78	68	39
受検者に対する率	29.0%	31.4%	26.9%	31.8%	27.6%	25.8%
女	211.0	210.7	213.0	211.0	211.8	208.3
高値者数	147	27	32	33	34	21
受検者に対する率	35.0%	31.4%	35.6%	37.5%	36.6%	33.3%

高コレステロール血症: ≥221 mg/dl

### ○血清HDLコレステロール (HDL-C) 値

血清HDL-Cに関しては,経年的には一定の傾向は認めない。男女比較では男性で平均値が低く,女性より高頻度に低HDL-C血症を認める。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体低値者数	467 5.6%	102 5.9%	111 6.5%	64 3.8%	121 7.3%	69 4.6%
男	58.4	58.6	57.8	60.2	56.7	58.7
低値者数	438	96	102	58	117	65
受検者に対する率	8.4%	8.7%	9.4%	5.4%	11.2%	7.1%
女	69.0	69.4	68.6	70.8	67.5	68.8
低値者数	29	6	9	6	4	4
受検者に対する率	0.9%	1.0%	1.4%	1.0%	0.6%	0.7%

低HDLコレステロール血症: <41 mg/dl

### ○血清中性脂肪（TG）値

高TG血症を呈する者は、女性と比較して男性が多い。男性については、2018年以降高TG血症の頻度が低下している。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体高値者数	1,372 16.5%	310 18.0%	302 17.7%	293 17.2%	252 15.1%	215 14.2%
男	1,218	277	276	258	224	183
受検者に対する率	23.4%	25.1%	25.5%	24.1%	21.5%	20.0%
女	154	33	26	35	28	32
受検者に対する率	5.0%	5.3%	4.1%	5.6%	4.5%	5.3%

中性脂肪高値：≥151 mg/dl

### ○血清ヘモグロビンA1c（HbA1c: NGSP）値

血中HbA1c高値は、2018年以降に男性において減少しており、女性はここ5年間でやや増加している。異常者には治療中の者を含むが、未治療の職員には病院受診を指示している。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体高値者数	349 4.2%	84 4.9%	80 4.7%	77 4.5%	60 3.6%	48 3.3%
男	304	76	71	69	50	38
受検者に対する率	5.9%	6.9%	6.6%	6.4%	4.8%	4.3%
女	45	8	9	8	10	10
受検者に対する率	1.5%	1.3%	1.4%	1.3%	1.6%	1.7%

HbA1c高値… ≥6.3%

### ○血清尿酸値（男のみ）

血清尿酸値は男性のみに行い、7.1 mg/dl以上を高尿酸血症としている。経年的変化では年度により異なり一定の傾向は認めない。高尿酸血症は平均でも20.5%と高率であり、肥満との関連も考えられる。痛風、腎障害（痛風腎）、尿路結石の予防の観点から、高値者は呼びだして栄養指導、必要な場合には病院紹介としている。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
男	1,027	199	211	193	232	192
受検者に対する率	20.5%	18.9%	20.2%	18.9%	23.0%	21.9%

高尿酸血症：≥7.1 mg/dl

### ○貧血検査（血中ヘモグロビン値）

貧血を呈する職員はここ5年間で一定の傾向は認めない。男女で比較すると女性で高頻度である。貧血を認める者は、呼びだしの上、経時的な変化を考慮し、必要と認めた場合には精査加療としている。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体異常者数	545 6.6%	117 6.8%	117 6.9%	109 6.4%	104 6.2%	98 6.5%
男	216	45	53	39	38	41
受検者に対する率	4.1%	4.1%	4.9%	3.6%	3.6%	4.5%
女	329	72	64	70	66	57
受検者に対する率	10.6%	11.5%	10.2%	11.1%	10.6%	9.5%

貧血：男<13.5 g/dl, 女<11.5 g/dl

### 職員の胸部レントゲン検査に関して

胸部レントゲン検査はトリプルチェックを行って異常者の発見に努めている。受検率は2010年以降徐々に増加していたが、2019年度は低下していた。精密検査を必要とする率は2016年度～2018年度に高い頻度となっている。異常所見を認めた場合には前回との比較を行い、問題がある例に関しては呼吸器専門医へ紹介している。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対象者数	9,100	1,880	1,851	1,830	1,779	1,760
受検者数	8,161	1,689	1,681	1,676	1,637	1,478
受検率	89.7%	89.8%	90.8%	91.6%	92.0%	84.0%
有所見者数	1,358	187	275	248	315	333
受検者に対する率	16.6%	11.1%	16.4%	14.8%	19.2%	22.5%
要経過観察	150	19	33	39	35	24
受検者に対する率	1.8%	1.1%	2.0%	2.3%	2.1%	1.6%
要精密検査	177	25	49	47	44	12
受検者に対する率	2.2%	1.5%	2.9%	2.8%	2.7%	0.8%

### 職員の心電図検査結果に関して

心電図の受検対象者は35歳以上としている。循環器科専門医により、下記の判定を行っている。心電図有所見者はこの5年間で24.5%に認められた。要医療に分類された職員は呼び出しの上、受診中でない者に対しては循環器専門病院への紹介を行っている。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	6,867	1,388	1,410	1,425	1,393	1,251
有所見者数	1,685	282	398	394	285	326
有所見率	24.5%	20.3%	28.2%	27.6%	20.5%	26.1%
要再検・要精検	291	43	72	75	61	40
受検者に対する率	4.2%	3.1%	5.1%	5.3%	4.4%	3.2%
要医療・治療中	17	1	4	3	4	5
受検者に対する率	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%

対象者：35歳以上

### 職員の大腸がん検査（便潜血検査）に関して

40歳以上に対して便潜血検査（ヒトヘモグロビン1回法）を行っている。健診当日に採便容器を渡し、後日提出としており、この5年間での受検率は66.9%となっている。陽性率は5年間の平均で3.7%であり、前回の5年間4.1%より低下している。陽性者は呼びだして病院における精密検査を指示している。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対象者数	6,475	1,262	1,294	1,313	1,303	1,303
受検者数	4,334	879	890	897	884	784
受検率	66.9%	69.7%	68.8%	68.3%	67.8%	60.2%
陽性者数	159	32	37	34	36	20
受検者に対する率	3.7%	3.6%	4.2%	3.8%	4.1%	2.6%

対象者：40歳以上

## 職員の喀痰検査に関して

喀痰検査は40歳以上で喫煙指数600以上の者、あるいは自覚症状のある希望者に保健師・医師から検査を勧めているが、受検者は非常に少数となっている。ここ20年間でClassⅢ以上の有所見者は認めていない。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	16	4	3	4	0	5
Class-Ⅰ 受検者に対する率	1 6.3%	1 25.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
Class-Ⅱ 受検者に対する率	15 93.8%	3 75.0%	3 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	5 100.0%
Class-Ⅲ 受検者に対する率	0	0	0	0	0	0

## 職員の内科所見に関して

内科診察では、既往歴、現在の症状、現在までの健診結果、診察所見などから総合的に判断して有所見者を拾い出すよう努めている。

対象者/年度	全体	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	8,290	1,711	1,707	1,699	1,666	1,507
有所見者数 有所見率	2,150 25.9%	437 25.5%	474 27.8%	456 26.8%	413 24.8%	370 24.6%
要観察・改善 受検者に対する率	81 1.0%	9 0.5%	23 1.3%	22 1.3%	12 0.7%	15 1.0%
要再検・要精検 受検者に対する率	4 0.05%	4 0.23%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
要医療・治療中 受検者に対する率	1,931 23.3%	394 23.0%	419 24.5%	405 23.8%	370 22.2%	343 22.8%
軽度異常 受検者に対する率	134 1.6%	30 1.8%	32 1.9%	29 1.7%	31 1.9%	12 0.8%

## 総合判定

職員健診の結果、最終的な総合判定（本学健康診断受診者）の推移を下記に示す。

判定基準は、A：異常なし、B：軽度異常、C：要指導・観察、D：要再検・精密検査、E：要医療、F：治療中の6段階で内科医が診断し、結果を職員に通知して事後措置に反映させている。

2018年度から、AからC判定の基準を変更している。日本人間ドック学会の判定基準を参考に、BおよびC判定の範囲をこれまでより広く設定することで、A判定の者が減少している。この変更によって、受診者へより注意を促すことが出来るようになったと考えられる。

年度 判定	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
A	137	106	243	98	89	187	104	100	204	49	59	108	43	55	98
[%]	[12.4]	[17.0]	[14.1]	[9.0]	[14.2]	[10.9]	[9.6]	[15.9]	[12.0]	[4.7]	[9.5]	[6.5]	[4.7]	[9.2]	[6.5]
B	121	98	219	96	121	217	95	97	192	138	121	259	118	113	231
[%]	[11.0]	[15.7]	[12.7]	[8.8]	[19.4]	[12.7]	[8.8]	[15.4]	[11.2]	[13.2]	[19.4]	[15.5]	[12.9]	[18.8]	[15.3]
C	207	129	336	224	127	351	201	124	325	232	140	372	222	139	361
[%]	[18.8]	[20.7]	[19.5]	[20.6]	[20.3]	[20.5]	[18.6]	[19.7]	[19.0]	[22.2]	[22.4]	[22.3]	[24.3]	[23.2]	[23.8]
D	166	117	283	170	111	281	189	128	317	168	119	287	123	115	238
[%]	[15.0]	[18.8]	[16.4]	[15.6]	[17.8]	[16.4]	[17.5]	[20.3]	[18.6]	[16.0]	[19.1]	[17.2]	[13.5]	[19.2]	[15.7]
E	188	65	253	194	63	257	189	76	265	194	86	280	173	71	244
[%]	[17.0]	[10.4]	[14.6]	[17.8]	[10.1]	[15.0]	[17.5]	[12.1]	[15.5]	[18.5]	[13.8]	[16.8]	[18.9]	[11.8]	[16.1]
F	285	108	393	305	114	419	300	104	404	266	99	365	235	107	342
[%]	[25.8]	[17.3]	[22.8]	[28.1]	[18.2]	[24.5]	[27.8]	[16.5]	[23.7]	[25.4]	[15.9]	[21.8]	[25.7]	[17.8]	[22.6]
計	1,104	623	1,727	1,087	625	1,712	1,078	629	1,707	1,047	624	1,671	914	600	1,514

#### (4) その他の健康診断・検診

一般健康診断以外の検診について以下にその結果のみを示す。

##### ○胃検診

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	957	236	198	195	156	172
異常なし 受検者に対する率	641 67.0%	180 76.3%	125 63.1%	111 56.9%	102 65.4%	123 71.5%
有所見者数 受検者に対する率	316 33.0%	56 23.7%	73 36.9%	84 43.1%	54 34.6%	49 28.5%
内要精密検査者数 受検者に対する率	46 4.8%	14 5.9%	11 5.6%	10 5.1%	9 5.8%	2 1.2%

対象者：40歳以上および希望者

##### ○子宮がん検診

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	993	208	195	204	184	202
異常なし 受検者に対する率	880 88.6%	138 66.3%	190 97.4%	202 99.0%	156 84.8%	194 96.0%
有所見者数 受検者に対する率	113 11.4%	70 33.7%	5 2.6%	2 1.0%	28 15.2%	8 4.0%
内要精密検査者数 受検者に対する率	19 1.9%	0 0.0%	4 2.1%	0 0.0%	11 6.0%	4 2.0%

対象者：希望者

##### ○マンモグラフィー検診（乳がん検診受診者の内併用で受検）

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
受検者数	368	58	82	67	76	85
異常なし 受検者に対する率	354 96.2%	58 100.0%	81 98.8%	65 97.0%	69 90.8%	81 95.3%
有所見者数 受検者に対する率	14 3.8%	0 0.0%	1 1.2%	2 3.0%	7 9.2%	4 4.7%
内要精密検査者数 受検者に対する率	10 2.7%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.5%	6 7.9%	2 2.4%

対象者：40歳以上かつ2年に1回（生まれ年（西暦）の偶数年奇数年でわけている）

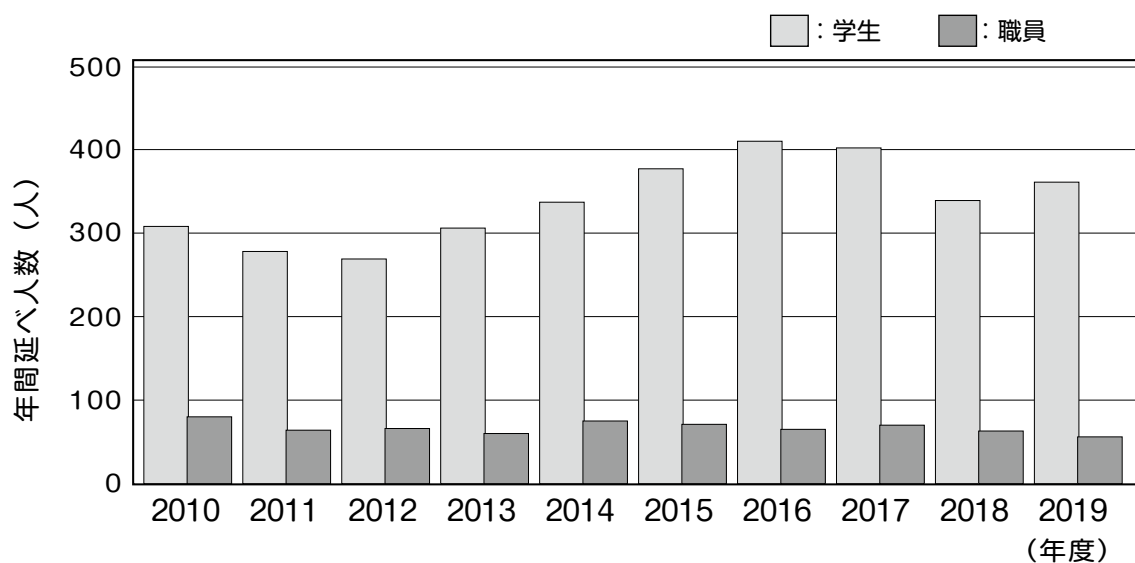
##### ○特定・特殊健康診断

対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
職員	対象者数	500	94	101	109	102
	受診者数	325	71	65	70	63
	受診者に対する率	65.0%	75.5%	64.4%	64.2%	61.8%
	異常者数	52	9	10	8	13
学生	対象者数	2,330	460	499	487	444
	受診者数	1,889	377	410	402	339
	受診者に対する率	81.1%	82.0%	82.2%	82.5%	76.4%
	異常者数	165	27	32	34	33

##### ○放射線業務従事者等健康診断

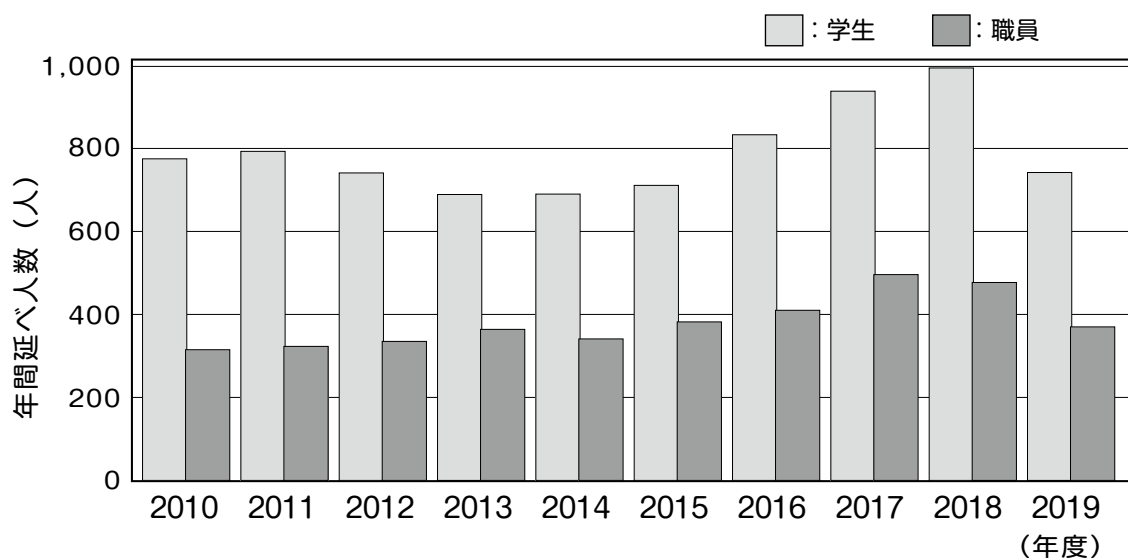
対象者/年度	合計	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
合計 受診数	6,363	1,103	1,243	1,434	1,471	1,112
職員 受診数	2,145	392	410	496	477	370
学生 受診数	4,218	711	833	938	994	742

特定・特殊健康診断受診者数  
～学生・職員別10年間の推移～



特定・特殊健康診断は全体で400名程度の受診であり、学生が300～400名と主体となっている。ここ10年間で見ると職員はほぼ横ばいであり、学生は増加傾向にある。

放射線業務従事者等健康診断受診者数  
～学生・職員別10年間の推移～



放射線業務従事者等健康診断も学生の受診数が職員の倍程度と多い。2017年度に廃液処理に携わるものが健診を受けることとなり受診者が増加したが、2019年度に法改正に伴い受診が不要となったため、受診者が減少している。

## (5) メンタルヘルス部門

### 1) はじめに

2015～2019年度の本学のメンタルヘルス状況を振り返る。

まず、少子化により大学全入時代を迎え、本学においても多様な学生が入学するようになってきた。留学生数もこの5年間で602人から760人と増えており、多様化傾向がより進んできている。次に、教職員にとっては、継続する「学都構想」の流れの中で、2017年からは「しなやかに超えていく「実りの学都」へ」という横野ビジョンの下、様々な取り組みや組織改変が行われている。

このような動きの中で、学生については、他の専門支援機関の拡充等で生活や就学の支援が充実してくるにより、メンタルヘルス支援の幅が広がってきた。しかし、教職員については、支援体制が未だ不十分であり、その充実が求められている。

学生に対する支援としては、1次予防として、新入生のオリエンテーションの際のミニレクチャー、出前講座、教養教育科目「キャンパスライフとメンタルヘルス」開講（前期・後期）などを行っている。また、年1回のメンタルヘルス講演会を開催した。2次予防としては、健康診断時のメンタルヘルス不調者の診察、外来診療を引き続き行っている。3次予防としては、復学支援やメンタルヘルス問題を抱えた学生の継続支援などを行っている。

教職員に対しては、保健管理センター精神科医がメンタルヘルス系産業医として各事業場で対応するとともに、メンタルヘルス対策推進室によっていくつかの対策が施された。以下に主なものを示す。

- ・ 小冊子「教職員のメンタルヘルス対策（1次、2次、3次予防）」の作成と活用
- ・ ストレスチェックの実施
- ・ 外国人教職員への対策（電話医療通訳サービス 英語で対応する精神保健福祉士の外部委託 診療協力病院の確保など）
- ・ 復職時における民間の復職支援プログラム（リワーク）の活用

保健管理センターメンタルヘルス部門の体制については、精神科医は3名体制が継続されており（長年勤務された清水幸登准教授が2019年3月で退職し、同年4月より岡部伸幸准教授が赴任）、臨床心理士は、4名体制（2名：週4日 2名：週1日）である。

### 2) 新規来談者統計から

新規来談者統計の結果を示す。

#### ①新規来談者数について

この5年間のメンタルヘルス部門への新規来談者数（表1）は学生・教職員を合わせて1,762名（男849名 女913名）で、前回の報告（2010～2014年度）の1,703名（男762名 女941名）とほぼ同じである。

平均新規来談者率（表2）では、前回の報告と比べ、学部生はほぼ同率だが、大学院生は倍増、留学生は微増、教職員は減少していた。

表1 新規来談者（2015年度～2019年度）

	学部生	大学院生	留学生	学生計	教職員	合計
男	456 (420)	141 (46)	35 (19)	632 (485)	217 (277)	849 (762)
女	481 (473)	97 (62)	46 (31)	624 (566)	289 (375)	913 (941)
計	937 (893)	238 (108)	81 (50)	1,256 (1,051)	506 (652)	1,762 (1,703)

☆（ ）内は2010年度から2014年度の新規来談者数

表2 平均新規来談者率

	学部生	大学院生	留学生	教職員
2010～2014	1.7%	0.7%	2.0%	4.6%
2015～2019	1.8%	1.6%	2.5%	2.5%

☆平均新規来談者率：新規来談者総数を各年度在籍者数の累計で割ったもの

## ②新規来談者の数の年度別推移について

新規来談者数を年度別に比べる（図1）と、350人前後で推移している。所属別新規来談者数の経年的推移（図2）をみると、2014年度までは各所属で大きな増減があったが、2015年度以降は各所属とも変動幅は小さくなっている。

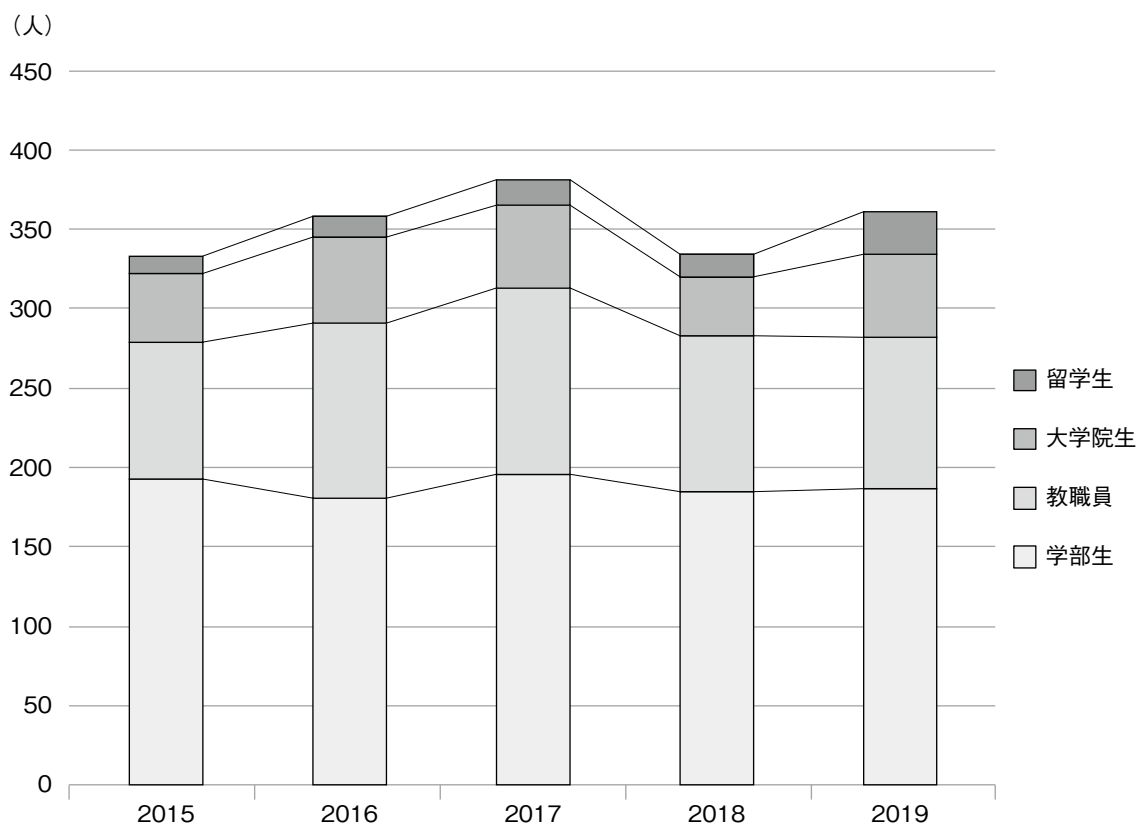


図1 新規来談者数の推移



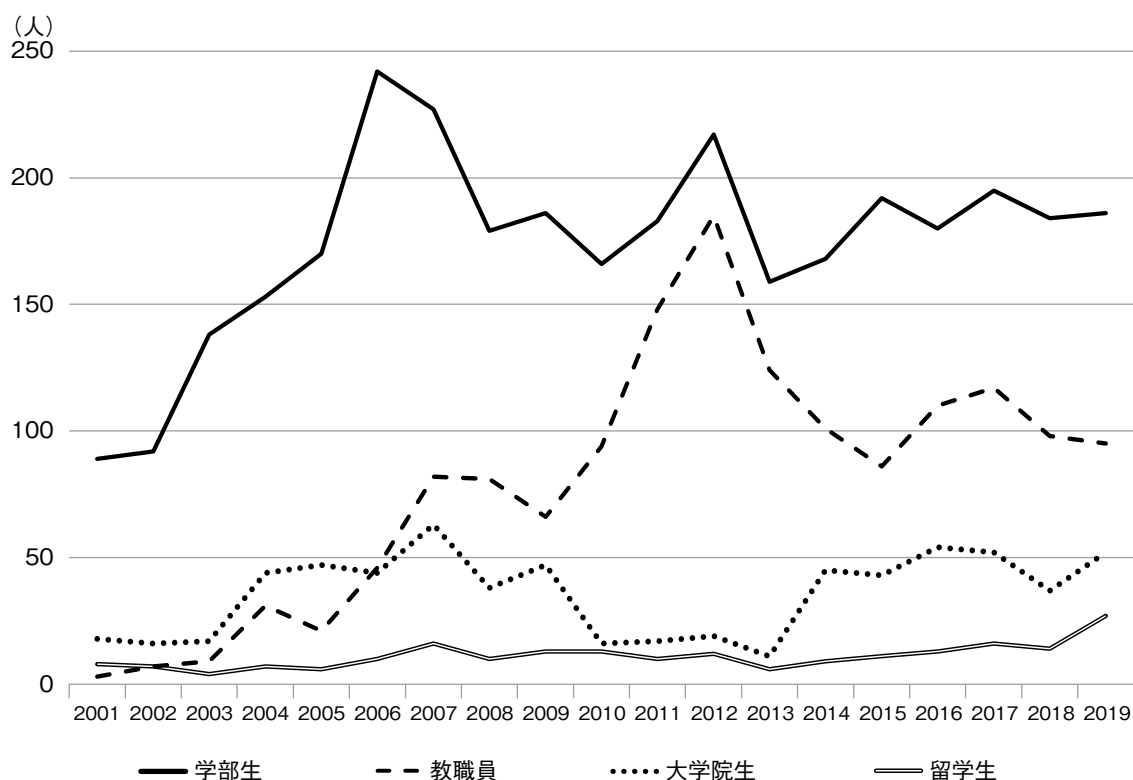


図2 所属別新規来談者数の経年推移

### ③学部別新規来談者数割合について

学部別新規来談者数割合（表3）では、学部総計では1.7%と前回とほぼ同率である。学部別にみると、学部間の割合の違いは前回と同様の傾向が認められる。

表3 新規来談者数割合（学部別）

	新規来談者数	平均在籍者数	新規来談者数割合
文学部	25	782	3.2% (3.0%)
教育学部	15	1,192	1.3% (1.5%)
法学部	21	984	2.1% (1.7%)
経済学部	15	1,075	1.4% (1.5%)
理学部	19	664	2.8% (2.1%)
医学部	5	1,404	0.4% (0.7%)
歯学部	1	308	0.2% (0.5%)
薬学部	13	415	3.0% (2.4%)
工学部	35	2,076	1.4% (1.0%)
環境理工学部	9	652	1.4% (1.2%)
農学部	12	513	2.3% (1.8%)
マッチングプログラムコース	3	66	4.0% (3.2%)
グローバル・ディスカバリー・プログラム	1	89	0.9% (-)
計	172	10,218	1.7% (1.5%)

☆（ ）内は2010年度から2014年度の新規来談者数割合

#### ④心理検査

表4に心理検査の実施数を示す。前回と比べると低下しているのは、一時期カウンセラーがマイナス1であったことによる。WAISが多いのは発達障がい疑いの来談者が増えてきたことを反映している。

表4 心理検査実施数

	WAIS	ロールシャッハテスト	その他	計
2015	9	0	3	12
2016	11	0	28	39
2017	15	0	14	29
2018	6	0	15	21
2019	5	0	0	5
計	46 (58)	0 (6)	60 (69)	106 (133)

☆（ ）内は2010年度から2014年度の検査数

### 3) 考察

所属別に考察する。

#### ①学部生

この5年間の新規来談者数はこの期間以前と比べ、増減の幅が狭く比較的安定している。現状の体制ではこの辺りが飽和状態ではないかと推測する。しかし、学部間の新規来談者数割合の差は大きいことから、その学部の特徴にマッチした対応が必要と考える。

#### ②大学院生

大学院生も学部生と同じく、この5年間の新規来談者数は比較的安定している。しかし、研究室での不適応が深刻化した状態になってからの相談が少なくないため、早期の相談に繋がる工夫が必要と考える。

#### ③留学生

新規相談件数が増えており、新規来談者数割合は学部生・大学院生よりも高い。留学生への支援では、医療提供だけでなく、生活環境や就学環境の調整が不可欠である。今後も、他の専門機関と連携を取りながら支援していく必要がある。

#### ④教職員

新規相談件数はやや減少傾向ではあるが、休業者数は増加してきている。教職員への対策としては、この5年間は復職支援（3次予防）が主だったが、今後は1次予防、2次予防へと拡大していくことが必要である。

### 4) おわりに

この5年間の特徴は、基本的なメンタルヘルス支援体制が整備されたと考えている。今後は、さらに、1次予防・2次予防へと支援を拡大していくことが必要だろう。

### Ⅲ. 教育・啓発活動

保健管理センターが担っている教育・啓発活動とは学生講義のみならず、日常の外来診療や健康診断での保健・栄養指導、学内外のオリエンテーション、講習会、講演会など多岐にわたる。ここでは、(1) 学生講義、(2) 日常業務の中での健康教育、(3) 学内のオリエンテーションや講習会・講演会の3つに分類してその活動内容を記載した。

#### (1) 学生講義

保健管理センターが担当する学生講義の主要なものを示した。現在センター教員が行う中心的な講義は、一般教養科目としての「健康・スポーツ科学」およびメンタル系の講義「キャンパスライフとメンタルヘルス」、専門科目としての「診断治療学」、薬学部大学院の講義としての「病態機能診断学」である。一般教養科目では、フィジカル・メンタルの両面からの健康という視点で、生涯身につけてほしい知識や考え方、また、病者の心への理解などを意図して講義を組み立てており、専門科目および大学院講義では医学的立場から薬学部学生・薬学部大学院生が是非知っておくべき病気に関する知識・考え方・治療などを主に概説している。また、他に薬学部専門教育としての「内分泌化学」、医学部・医学科へは「内分泌学総論」など、オムニバス形式で講義を行っている。

講義内容を理解していただくために、最近のシラバスの代表的なものを掲載した。

(以下すべて敬称略)

#### ①学部学生講義

##### 健康・スポーツ科学 (2019年度)

授業科目	健康・スポーツ科学	
主題キーワード	生と死, 生命科学, 保健	
学期・単位	2019年度 3学期・0.5単位	
曜日・時限	月曜・5時限	
対象学生	2019年度入学者・2018年度入学者・2017年度入学者	
必修・選択の別	選択必修	
担当教員	岩崎良章 他	
所属	保健管理センター	
電話番号	086-251-7213 (内線7213)	
Eメールアドレス	yiwasaki@okayama-u.ac.jp	
オフィスアワー	木曜日・午前9時～午後1時・保健管理センター・要予約 (Eメールで)。 疑問点など有れば、Eメールで質問していただければお答えします。	
授業の概要	学生時代は「こころ」と「からだ」の成長過程であり、社会に旅立つ前の重要な準備期間であるといえます。学生時代また生涯を健やかに過ごすためには、よりよい生活習慣や疾病に関する正しい知識を持つことが大切です。この授業ではそういった視点から、正しい健康観を築いていただくために何が必要かを皆さんと考えてみたいと思います。	
学習目標	学生時代また生涯を健やかに過ごすための正しい健康観を築いていただくことを目標としています。	
授業計画	岩崎	①オリエンテーション～授業内容と保健管理センターの説明他～
	二宮	②身近な病気への理解 1) 呼吸器疾患
	岩崎	③身近な病気への理解 2) 消化器疾患
	二宮	④身近な病気への理解 3) アレルギー性疾患
	岩崎	⑤身近な病気への理解 4) 感染症
	樋口	⑥身近な病気への理解 5) 代謝性疾患
	樋口	⑦栄養・スポーツと健康
	岩崎	⑧期末試験

使用メディア・機器・人的支援の活用－履修者への連絡事項	1. 配布資料の有無／板書量：毎回パワーポイントの資料を配布する。／たまに板書をすることもあるが、基本的には行わない。 2. 配布資料の事前提供の可否：可（何らかの障がい等，学生に特別な事情があると認められた場合のみ。但し，小テストを除く。） 3. 可能な配慮内容：授業の録音，撮影の許可（何らかの障がい等，学生に特別な事情があると認められた場合のみ。事前にご相談ください。）
受講要件	一般常識および高校卒業程度の知識（生物学，保健体育など）が有れば十分です。
教科書	特に指定しません。原則として授業で配布される講義資料を参考にしてください。
参考書等	原則として毎回パワーポイントのスライド資料を配付します。 深く勉強したい人には，各教員が必要と思われる参考資料を授業の中で紹介します。
成績評価	[出席+レポート:20%]+[期末試験:80%]で総合的に評価します。
研究活動との関連	担当教員は，内科医（内分泌・代謝，高血圧，腎臓，消化器，呼吸器，アレルギー，感染症，がん，疫学など）で，実際に研究を行っている専門の分野をオムニバス形式で担当しています。
J A B E E との関連	毎回の講義後，配布プリントとノートを見直しておくこと。 随時，e-learningによる自主学習も行い，出席点に追加します
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリシップで目標を達成しよう
備考	講義開始前よりカード・リーダーによる出席のチェックを行います。学生証を必ず持参して下さい。特別の理由が無い限り，原則として講義開始15分以降の入室，途中退室は欠席とみなします。原則として講義の終わりに小テストを行い，理解度の確認・復習と出席のチェックを行います。 本科目は，抽選対象科目です。 抽選で当選した学生あるいは，W e b追加募集で当選した学生以外履修できません。所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ，指定された期間内に抽選登録してください。

授業科目	健康・スポーツ科学
主題キーワード	生と死，生命科学，保健
学期・単位	2019年度 4 学期・0.5 単位
曜日・時限	月曜・5 時限
対象学生	2019年度入学者・2018年度入学者・2017年度入学者
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎良章 他
所属	保健管理センター
電話番号	086-251-7213 (内線7213)
Eメールアドレス	yiwasaki@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	木曜日・午前9時～午後1時・保健管理センター・要予約（Eメールで）。 疑問点など有れば，Eメールで質問していただければお答えします。
授業の概要	学生時代は「こころ」と「からだ」の成長過程であり，社会に旅立つ前の重要な準備期間であるといえます。学生時代また生涯を健やかに過ごすためには，よりよい生活習慣や疾病に関する正しい知識を持つことが大切です。この授業ではそういった視点から，正しい健康観を築いていただくために何が必要かを皆さんと考えてみたいと思います。
到達の目標	学生時代また生涯を健やかに過ごすための正しい健康観を築いていただくことを目標としています。

授業計画	岩崎	①オリエンテーション～授業内容と保健管理センターの説明他～
	二宮	②身近な病気への理解 1) 呼吸器疾患
	岩崎	③身近な病気への理解 2) 消化器疾患
	二宮	④身近な病気への理解 3) アレルギー性疾患
	岩崎	⑤身近な病気への理解 4) 感染症
	樋口	⑥身近な病気への理解 5) 代謝性疾患
	樋口	⑦栄養・スポーツと健康
	岩崎	⑧期末試験
使用メディア・機器・人的支援の活用－履修者への連絡事項	<p>1. 配布資料の有無／板書量：毎回パワーポイントの資料を配布する。／たまに板書をすることもあるが、基本的には行わない。</p> <p>2. 配布資料の事前提供の可否：可（何らかの障がい等、学生に特別な事情があると認められた場合のみ。但し、小テストを除く。）</p> <p>3. 可能な配慮内容：授業の録音、撮影の許可（何らかの障がい等、学生に特別な事情があると認められた場合のみ。事前にご相談ください。）</p>	
受講要件	一般常識および高校卒業程度の知識（生物学、保健体育など）が有れば十分です。	
教科書	特に指定しません。原則として授業で配布される講義資料を参考にしてください。	
参考書等	原則として毎回パワーポイントのスライド資料を配付します。深く勉強したい人には、各教員が必要と思われる参考資料を授業の中で紹介します。	
成績評価	[出席+レポート:20%]+[期末試験:80%]で総合的に評価します。	
研究活動との関連	担当教員は、内科医（内分泌・代謝、高血圧、腎臓、消化器、呼吸器、アレルギー、感染症、がん、疫学など）で、実際に研究を行っている専門の分野をオムニバス形式で担当しています。	
J A B E E との関連	毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。 随時、e-learningによる自主学習も行い、出席点に追加します	
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を	
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに	
主なSDGs関連項目3	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
備考	<p>講義開始前よりカード・リーダーによる出席のチェックを行います。学生証を必ず持参して下さい。特別の理由が無い限り、原則として講義開始15分以降の入室、途中退室は欠席とみなします。原則として講義の終わりに小テストを行い、理解度の確認・復習と出席のチェックを行います。</p> <p>本科目は、抽選対象科目です。</p> <p>抽選で当選した学生あるいは、Web追加募集で当選した学生以外履修できません。所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ、指定された期間内に抽選登録してください。</p>	

### 診断治療学（2019年度）

授業科目	診断治療学
学期・単位・曜日・時限	2019年度 3学期 1.5単位
対象学生	薬学3年次
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎良章 他
所属	保健管理センター
電話番号	086-251-7213 (内線7213)
Eメールアドレス	yiwasaki@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	火曜日 午後（あらかじめメールで連絡すること）

授業の概要	代表的な内科疾患・精神科疾患を中心に、疾患の病態をまず概説し、次いで診断・治療のプロセスの過程で特に大切な事項をなるべくわかりやすく概説する。特に薬学科学生が対象なので、どのような病態にどのような薬物療法が対象になるかを、臨床的な視点から解説したい。
到達の目標	薬の働きを知るだけでなく、その薬が使われる疾患の診断・治療に至る過程をよく理解すること。また、疾患の病態を把握し、その発生原因や予防・治療法を考え、将来の臨床現場での業務や薬物の研究・開発に役立てることが目標である。
授業計画	岩崎 第1回：オリエンテーション／総論
	岩崎 第2回：循環器疾患（心疾患）
	樋口 第3回：代謝疾患（糖尿病・メタボ・痛風）
	樋口 第4回：腎疾患・内分泌疾患（症例を中心に）
	二宮 第5回：血液疾患・感染症（造血器腫瘍、ウイルス感染症を中心に）
	岩崎 第6回：消化器系疾患（1）（ウイルス性肝炎）
	岩崎 第7回：復習・質疑応答
	岩崎 第8回：循環器疾患（2）（高血圧）・代謝疾患（脂質異常症）
	二宮 第9回：呼吸器疾患（呼吸器感染症・腫瘍）
	岩崎 第10回：消化器系疾患（2）（H.ピロリ菌感染症・炎症性腸疾患・大腸腫瘍）
	二宮 第11回：アレルギー疾患（アナフィラキシー、アトピー、喘息など）
	大西 第12回：神経疾患（脳血管障害・認知症・パーキンソン病）
	岡部 第13回：精神疾患（精神科における薬物療法）
	岩崎 第14回：質疑応答
教科書	【教科書】 特になし パワーポイントのスライド内容を配布する ※ただし講師によって異なる。
成績評価	【評価方法・評価基準】 1. 出席（一部小テスト）（80%） 2. レポート（20%） 【評価者】 授業担当教員 【評価時期】 学期末 【ループリックURL】 なし 【保留について】 『評価については「H（保留）」が付く場合がある。「H（保留）」の概要については掲示板で確認すること。』
受講要件	【基礎となる授業科目】 2年次までの薬学の講義を受けてきた学習者には理解できると考える。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
備考	将来、薬剤師や研究者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、CBTやOSCEにも参考になるような講義にしたいと考える。 【発展する授業科目】 臨床系科目全般 【実務経験の内容】 医師としての勤務経験 【履修上の注意】 最少開講人数は5名です。

## キャンパスライフとメンタルヘルス (2019年度)

授業科目	キャンパスライフとメンタルヘルス	
学期・単位	2019年度 夏季集中 1単位	
曜日・時限	2019年8月19日, 20日, 22日の3日間 2～6限	
対象学生	2019年度入学者：全 2018年度入学者：全 2017年度入学者：全	
必修・選択の別	選択必修	
担当教員	大西 勝	
所属	保健管理センター	
電話番号	086-235-7487 (鹿田)	
Eメールアドレス	ohnishi@cc.okayama-u.ac.jp	
オフィスアワー	適宜, 電話で予約をとってください。	
授業の概要	大学生活でおきやすいメンタルヘルス問題とその対応について講義します。	
学習目的	メンタルヘルスについて学ぶことで, 柔軟な適応力を身につけ, 健やかな大学生活を過ごすことを目指します。また, 卒後においても活用できる力を身につけることも目標とします。	
授業計画	大西	第1回 オリエンテーション
	大西	第2回 青年期の心の特徴
	大西	第3回 大学生活におけるメンタルヘルス
	大西	第4回 事件・事故・災害時のメンタルヘルス
	大西	第5回 最近のトピックス1
	大西	第6回 薬物乱用
	大西	第7回 DV・ハラスメント
	大西	第8回 睡眠と食欲
	大西	第9回 発達障がい
	大西	第10回 最近のトピックス2
	大西	第11回 ストレスマネジメント
	大西	第12回 こころの病気1
	大西	第13回 こころの病気2
	大西	第14回 最近のトピックス3
	大西	第15回 まとめ
受講要件	予備知識は必要ありません。	
成績評価	出席, レポートを総合的に評価します。	
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を	
主なSDGs関連項目2	5 ジェンダー平等を実現しよう	
研究活動との関連	担当教員は, 青年期のメンタルヘルスについての研究を行っている。この講義は, 担当教員の専門分野を含む大学生に必要なメンタルヘルスについての知見を解説します。	
備考	本科目は, 抽選対象科目です。 抽選で当選した学生あるいは, W e b 追加募集で当選した学生以外履修できません。 所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ, 指定された期間内に抽選登録してください。	

授業科目	キャンパスライフとメンタルヘルス	
学期・単位	2019年度 春季集中 1単位	
曜日・時限	2020年年2月13日, 17日, 18日の3日間 2～6限	
対象学生	2019年度入学者：全 2018年度入学者：全 2017年度入学者：全	
必修・選択の別	選択必修	
担当教員	大西 勝	
所属	保健管理センター	
電話番号	086-235-7487 (鹿田)	
Eメールアドレス	ohnishi@cc.okayama-u.ac.jp	
オフィスアワー	適宜, 電話で予約をとってください。	
授業の概要	大学生活でおきやすいメンタルヘルス問題とその対応について講義します。	
学習目的	メンタルヘルスについて学ぶことで, 柔軟な適応力を身につけ, 健やかな大学生活を過ごすことを目指します。また, 卒後においても活用できる力を身につけることも目標とします。	
授業計画	大西	第1回 オリエンテーション
	大西	第2回 青年期の心の特徴
	大西	第3回 大学生活におけるメンタルヘルス
	大西	第4回 事件・事故・災害時のメンタルヘルス
	大西	第5回 最近のトピックス1
	大西	第6回 薬物乱用
	大西	第7回 DV・ハラスメント
	大西	第8回 睡眠と食欲
	大西	第9回 発達障がい
	大西	第10回 最近のトピックス2
	大西	第11回 ストレスマネジメント
	大西	第12回 こころの病気1
	大西	第13回 こころの病気2
	大西	第14回 最近のトピックス3
	大西	第15回 まとめ
受講要件	予備知識は必要ありません。	
成績評価	出席, レポートを総合的に評価します。	
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を	
主なSDGs関連項目2	5 ジェンダー平等を実現しよう	
研究活動との関連	担当教員は, 青年期のメンタルヘルスについての研究を行っている。この講義は, 担当教員の専門分野を含む大学生に必要なメンタルヘルスについての知見を解説します。	
備考	本科目は, 抽選対象科目です。 抽選で当選した学生あるいは, W e b 追加募集で当選した学生以外履修できません。 所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ, 指定された期間内に抽選登録してください。	



授業科目	いざというとき、慌てないために～危機管理と対処法～ How to save life in emergencies~crisis control and first-aid~
学期・単位・曜日・時限	2019年度 第2学期
対象学生	2017・2018・2019年度入学者：全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	宮崎隆文 [MIYAZAKI Takafumi], 和賀 崇 [WAGA Takashi], 青尾 謙 [AOO Ken], 名倉弘哲 [NAKURA Hironori], 中尾篤典 [NAKAO Atsunori], 岩崎良章 [IWASAKI Yoshiaki]
電話番号	宮崎隆文（安全衛生推進機構）086-251-7213（内線7213）
Eメールアドレス	tmiyazaki@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	毎週火曜日 14：00～15：00（事前にメールにて予定確認して下さい。）
授業の概要	けがや災害に対する危機管理や応急処置の方法を講義及び実習を通して学ぶ。
到達の目標	危機管理に対する当事者意識を持つ。緊急時の初歩的な対処法を実践できる。
授業計画	<p><b>【6/12】</b> 1週目：オリエンテーション（救助者としての心得・覚えておくべきこと） 担当：宮崎隆文教授（安全衛生推進機構）/和賀 崇・准教授（全学教育・学生支援機構） （内容）この科目の目的は、人命に係わる重大事発生を想定して、講義と実習を組み合わせることで学習することにより、緊急時であっても実動できるスキルの体得を目指す。</p> <p><b>【6/19】</b> 2週目：自然災害の現状と減災対策および復旧支援についての講義と実習（I） 担当：青尾 謙（ヘルスシステム統合科学研究科） （内容）地震や津波、川の氾濫や土砂災害の現状と減災策および二次災害防止への対応、ボランティア活動の注意点、減災や復旧のための危機管理組織論など</p> <p><b>【6/26】</b> 3週目：自然災害に対する防災危機管理と保健衛生についての講義と実習（II） 担当：名倉弘哲教授（医歯薬学総合研究科） （内容）地震や津波、川の氾濫や土砂災害が減災対策や被災した際の行動、適切な避難場所や緊急時のための常備品、平時に準備すべき事など</p> <p><b>【7/3】</b> 4週目：発作・救急救命処置としてのAED・心臓マッサージ・心臓震盪（しんとう）などに関する講義と実習：AED操作法、蘇生法などの実習：正しい応急処置方法など 担当：中尾 篤典教授（医歯薬学総合研究科） （内容）心肺停止や窒息などによる生命に関わる事態に対する緊急時対応について、正しい理解と対処法について理解し、初歩的な対処法を実行可能にする。</p> <p><b>【7/10】</b> 5週目：呼吸困難、嘔吐・窒息などの呼吸障害に関する講義と実習：呼吸障害の応急処置 担当：中尾 篤典教授（医歯薬学総合研究科） （内容）回復体位、胸骨圧迫、蘇生法などの実習：応急処置方法など</p> <p><b>【7/17】</b> 6週目：外傷・急病などの処置に関する講義と実習及び脳死について 担当：中尾 篤典教授（医歯薬学総合研究科）</p>

	<p>(内容) 添え木になりそうなもの、骨折と打撲の症状の違い、応急処置法など。また、「自分が脳死になったら？」を考え、Advanced Care Planingについてもグループディスカッションを行う。</p> <p>【7/31】 7週目：スポーツ活動・レジャーにおける外傷・熱中症等のリスクに関する講義・実習 担当：岩崎良章教授（保健管理センター）・保健管理センター</p> <p>(内容) 虫刺され、蜂、切り傷の処置、水辺でのリスク、スポーツ外傷の種類と症状、初期治療や予防策に関する座学・実習実習：(例) 海、川、山で起こりそうなことを実習と討論する。熱中症対策・判断チャートを作成する。</p> <p>【8/7】 8週目：通学やキャンパス移動時の交通事故についての講義・実習（+ディスカッション） 担当：ゲスト講師（予定）</p> <p>(内容) 自動車や自転車での現状や事故対応や相手の応急処置、実習：岡山大学で起こりそうな事故→事前対策を考える</p> <p>※ 各回の内容は予定です。</p>
教科書	特になし
成績評価	授業への参加態度及び各回のリアクションペーパーを総合的に判断する。
受講要件	なし
主なSDGs関連項目1	(保健) あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
主なSDGs関連項目2	(気候変動) 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
主なSDGs関連項目3	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習等を授業内容に含むため、履修人数の上限を50人とする。上限を超える履修希望があった場合、初回授業時に抽選を行う。</li> <li>・8週分をすべて受講することを基本とする。</li> <li>・「学生教育研究災害傷害保険」等の保険に加入していることが求められる。</li> </ul>

授業科目	安全衛生入門 Introduction of Safety and Health
学期・単位・曜日・時限	2019年度 第4学期
対象学生	2017・2018・2019年度入学者：全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	宮崎隆文 [MIYAZAKI Takafumi], 岩崎良章 [IWASAKI Yoshiaki], 岡本崇 [OKAMOTO Takashi]
電話番号	宮崎隆文（安全衛生推進機構）086-251-7213（内線 7213）
Eメールアドレス	宮崎隆文：tmiyazaki@okayama-u.ac.jp 岡本 崇：takashi_okamoto@cc.okayama-u.ac.jp 岩崎良章：yiwasaki@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	宮崎隆文：毎週木曜日・14：00～16：00・メールでの事前予約が必要、岡本 崇：曜日の指定はありません、午前 09:00-12:00、岩崎良章：木曜日・午前9時～午後1時・保健管理センター・要予約（Eメールで）。
授業の概要	大学の教育研究現場では先端的かつ多様な活動があり、注意深く行動しないと事故や健康を害することになるかもしれない。それは大学卒業後の企業活動等でも同様であろう。本講義では、自らの安全と健康を守るために必要な知識（法・規範、危険認知、事件事例など）を得るだけでなく、それらの知識を生かして安全・安心を確保する術を学習する。

到達の目標	安全衛生関連の法令，安全・危険を意味する記号や標識，実験科学の専門用語について，自らの言葉で説明できる。自らの危険意識を高めて，危険を察知して危険回避のための正しい判断と行動する基礎を身に付ける。
授業計画	<p>第1回目に，ガイダンスと授業の概要説明を行った後，2回目以降は各分野の専門家からオムニバス形式で講義する。第8回目には，記述試験による成績評価を行う。なお，第3回目～7回目は講師の都合により順番が入れ替わることがある。</p> <p>第1回目 ガイダンスと授業の概要  第2回目 安全と危険，リスクの評価と管理など  第3回目 リスクアセスメント・事故事例・危険回避の方法など  第4回目 健康診断・学校保健安全法・生活習慣病・感染症予防・救急対応など  第5回目 放射性物質・放射線の安全な利用・リスクコミュニケーションなど  第6回目 社会的影響力・カルト・リスク認知・認知バイアスなど  第7回目 化学物質のリスクアセスメントなど  第8回目 まとめと記述試験</p> <p>授業時間外の学習（予習・復習）方法（成績評価への反映についても含む）  毎回の講義後，配布プリントとノートを見直し，授業内容を整理して自らの言葉で説明できるようにする。また，授業の中で紹介された事項や用語について自らの視点で調査する。</p>
教科書	特に指定しない。原則として授業で配布される講義資料を参考にする。こと。
成績評価	[出席+レポート:20%]+[期末試験:80%]で総合的に評価する。
受講要件	前提知識は特に必要ない。
主なSDGs関連項目1	(保健) あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し，福祉を促進する。
主なSDGs関連項目2	(教育) すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し，生涯学習の機会を促進する。
主なSDGs関連項目3	(実施手段) 持続可能な開発のための実施手段を強化し，グローバル・パートナーシップを活性化する。
備考	岩崎良章 講義開始前よりカード・リーダーによる出席のチェックを行う。学生証を必ず持参すること。特別の理由が無い限り，原則として講義開始15分以降の入室，途中退室は欠席とみなす。

#### その他の学内講義（2019年度）

##### 『岡山大学入門講座』

種類：教養講義

期日：2019年5月23日，6月6日

対象：全学部

担当：岩崎良章，大西 勝

##### 看護と病態生理 I

種類：専門講義

期日：2019年5月23日

対象：岡山大学医学部保健学科看護学専攻2年生

担当：岩崎良章

## 生涯支援看護学 I

種類：専門講義

期日：2019年7月8日

対象：岡山大学医学部保健学科看護学専攻3年生

担当：岩崎良章

## ②大学院学生講義

医歯薬学総合研究科（薬学系）の講義は大学院の制度に伴い変遷してきたが、各教員の専門分野を中心に授業を行っている。2019年の講義シラバスを以下に示す。

## 臨床病態診断学（2019年度）

授業科目	臨床病態診断学 I（演習・実習）
学期・単位・曜日・時限	2019年度 通年 4単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎良章 [IWASAKI Yoshiaki], 大西 勝 [ONISHI Masaru]
所属	保健管理センター
電話番号	086-251-7213（内線7213）
Eメールアドレス	yiwasaki@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	火曜日 午後（あらかじめメールで連絡すること）
授業の概要	患者の薬物治療に際して、その対象となる疾患の病態把握が適切な薬物療法の上で重要である。また薬物研究においては対象疾患の病態および病因を理解した上で薬物の開発や適応を考える必要がある。このような視点より内科（消化器疾患、呼吸器・アレルギー疾患など）および精神科疾患を内科医・精神科医としての臨床的な立場から講義する。下記に記載したように4名の教員が分担してそれぞれの分野で講義を行う。
到達の目標	研究の背景にある臨床の実態を知ることにより主眼を起し、個々の疾患に関する病態生理および薬物治療を中心に学ぶ。
授業計画	<p>（担当教員名 岩崎良章，2回講義，2回演習） （講義内容）肝疾患，消化器系疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。</p> <p>（担当教員名 大西 勝，2回講義，1回演習） （講義内容）神経疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。</p> <p>（担当教員名 岡部伸幸，2回講義，2回演習） （講義内容）精神科疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。</p> <p>（担当教員名 二宮 崇，2回講義，2回演習） （講義内容）呼吸器，アレルギー疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。</p> <p>具体的演習の内容は個々の教員によって異なるので詳細は割愛する。</p> <p>授業時間外の学習（予習・復習）方法（成績評価への反映についても含む） 各指導教員の指示に従うこと。</p>
教科書	【教科書】 特になし パワーポイントのスライド内容を配布する ※ただし講師によって異なる。
成績評価	レポート提出や講義・演習への参加姿勢や態度から判断する。
受講要件	薬学部学部学生が学ぶもののうち臨床系の講義

主なSDGs関連項目1	(保健) あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
主なSDGs関連項目2	(教育) すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
主なSDGs関連項目3	(実施手段) 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。
備考	将来、研究者、研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、薬学部卒業に必要な基礎学力・知識が有れば履修には十分である。

## (2) 日常業務の中での健康教育

学生・職員を対象として、医師、保健師、栄養士、臨床心理士の協力のもと保健指導を行っている。保健指導の内容は、食事・運動、服薬指導、肥満・痩せ、月経異常、メンタル指導など多岐にわたる。詳細な年度別、内容別推移は「Ⅱ 業務内容」を参照いただきたい。ここでは、新しいポスターや、保健管理センター内の掲示板の更新、多目的トイレの新設、メーリングリストでの情報提供などを紹介する。

### ①ポスター類・廊下掲示板の更新

健康診断時には毎日数百人の学生がセンターを訪れる。その順番待ちの間にも閲覧できるように、廊下の壁にはポスター掲示板を設置しており、随時追加・更新している。新たに追加した一部を示す。



### 一般的な活動量の学生向け食事例 (1800kcal程度)

「若いから大丈夫」と生活が不規則になっていませんか？  
大学生活は自己管理能力を養うために大切な時期です。  
将来の健康のために週に1度くらいは自分の生活を見直してみよう！

＜朝食＞

Check point  
忙しい朝は、手軽にカット野菜を利用しよう。

＜昼食＞

Check point  
学食を利用する時は定食型をチョイスしよう。

＜夕食＞

Check point  
保存しづらい魚類は、缶詰やレトルトパックを使ってみよう。

・単品の場合は、+αを意識しよう！  
・主食+副菜+主菜の組み合わせを意識しよう！

～1日の良いスタートは朝食から始まります～  
忙しいから朝食は…という人もバナナ+ヨーグルト、シリアル+牛乳などなるべく摂取するよう心がけましょう。

参考資料:株式会社ヘルシーフード

### ～『自分のめやす』知っていますか？～

性別や身体活動レベル（一般の人、アスリートなど）、年齢によって必要とするエネルギー量や目標とするBMIは変わってきます。  
体重・体脂肪測定を行い、自分のからだ向き合しましょう。

＜必要エネルギー(Kcal/day)のめやす＞

18～29歳	低い(Ⅰ)	ふつう(Ⅱ)	高い(Ⅲ)
男	2,300	2,650	3,050
女	1,650	1,950	2,200

身体活動レベルは、「低い」「ふつう」「高い」で区分されています。

低 (Ⅰ) デスクワーク中心(生活のほとんどが座り)の場合  
ふつう (Ⅱ) 座り中心だが、職場内の移動や通学、家事、軽いスポーツ等のいずれかを含む場合  
高 (Ⅲ) 移動の立位が多い仕事への従事者、あるいはスポーツなど余暇における活発な運動設備がある場合。

出典: いちばん詳しく、わかりやすい栄養の教科書 (講談社)

定期的な自分の体重をチェックしましょう。  
ポケカンにも体組成計がありますよ！

＜目標とするBMIの範囲＞

BMI = 体重(Kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

年齢(歳)	目標とするBMI(kg/m <sup>2</sup> )
18～49	18.5～24.9
50～69	20～24.9
70以上	21.5～24.9

例えば...  
年齢21歳、体重54kg、身長156cmの場合:  
BMI = 54(kg) ÷ 1.56(m) ÷ 1.56(m) = 22  
となります。  
年齢区分18～49歳の目標範囲内ということがわかります。

出典: 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」

食事のこと、栄養のことを詳しく知りたい方は、保健管理センターまでお越しください。保健管理センター 内線(7217)

### 女性アスリートは

パフォーマンスを上げるために、体重制限してあたりまえ  
月経周期で調子が変わるし、生理はごめん方が楽  
強い選手はほとんどが無月経。生理がくるようじゃ、まだまだ

これ、、ほんと??

### 女性アスリートの3主徴

利用可能エネルギーとは  
= (摂取エネルギー) - (運動により消費されるエネルギー)  
= 基礎代謝や日常生活に使用可能なエネルギー

Low energy availability (利用可能エネルギーの不足)

視床下部性無月経 (運動性無月経)

骨粗鬆症

運動性無月経  
月経が3か月以上停止した誘発性無月経のうち運動が原因と考えられるもの

骨粗鬆症  
無月経が続くとエストロゲンが低下し、骨量の低下が進行する。そのため運動による疲労骨折や将来の骨折のリスクが高まる。

部活女子は運動する分多めに食べましょう


## ②多目的トイレの新設






2019年度に、保健管理センター内に多目的トイレが新設された。トイレ内部は車椅子利用者に対応するため広く空間をとり、オストメイト対応や小さいながらも個室のシャワールームを備えており、これまで対応困難であった車椅子利用者、トランスジェンダーなど様々な方への対応が可能となった。



## ③ホームページ

当センターのホームページにおいて、健康情報として感染症に関する情報を提供している。学内での流行の可能性など注意が必要な感染症について取り上げている。COVID-19の感染拡大により、新型コロナウイルス感染症に関するものが主体となっている。

 **岡山大学 保健管理センター**  
HEALTH SERVICE CENTER, OKAYAMA UNIVERSITY

日本語 English 文字サイズ 大きくする 標準 検索

センター紹介	健康診断	内科外来	心の健康相談	専門外来	救急病院一覧
新入生の方		在学生の方		教職員の方	

ホーム>新型コロナウイルス感染症について

### 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

新型コロナウイルスは、無症状や軽微な症状の方も多く、感染が広がっています。流行を抑えるためには、各人が感染防止対策の基本を守ることが重要です。

- 1)人が集まる場所に入るときは、マスクを着用すること
- 2)公共のモノに触れたときは、手を洗うか消毒すること
- 3)症状を認める場合には、外出を自粛すること(学校や仕事を休むこと)

このような基本的な対策を行ったうえで、感染リスクの高い行動(宴会、飲食、カラオケ等)を控えるよう注意してください。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方については、人込みの多いところはできれば避けていただくなど、感染予防にご注意ください。

新型コロナウイルス感染症と診断された場合、または保健所等から感染者と接触の可能性のある旨の連絡を受けた場合は、**速やかに保健管理センター及び所属部局へ連絡してください。**

**感染者数の増加により、保健所からの連絡が迅速にこない状況になっています。**

**感染者から濃厚接触者等と特定されたという連絡があれば、所属部局に連絡してください。**

TEL:保健管理センター 086-251-7217

新型コロナウイルス感染症の対応については、今後の感染の広がりや重症度を見ながら適宜見直されていきますので、最新情報に注意を払うようにしてください。

#### ④メーリングリスト

本学では、2007年より当センターが中心となり、学内情報提供のためのシステム（メンタル及びフィジカルヘルスネットワーク、後に「学生保健ネットワーク（M&P-net）」）を立ち上げた。これは、会議ではなくネットワーク（メール）を利用して学生の健康に関する情報提供および様々な問題を解決し、さらには健康の維持増進を図るための双方向性の意見交換の場を設けることを目的としている。

#### <2019年度の配信内容>

- 4月11日 学生定期健康診断に関するお願い
- 10月21日 腸管出血性大腸菌感染症と細菌性赤痢について（英文併記）
- 11月15日 インフルエンザワクチン接種を！（英文併記）
- 12月24日 インフルエンザ注意報が発令されています
- 1月6日 感染性胃腸炎（ノロウイルス）の注意喚起（英文併記）
- 1月7日 学生保健ネットワークに関するお願い（英文併記）
- 1月27日 食中毒（ノロウイルス）注意報が発令されました！（英文併記）
- 2月13, 17日 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防について（英文併記）
- 2月27日 「花粉症」のシーズンがやってきました



### (3) 学内の講習・講演

健康教育・労働安全衛生の啓発活動として、保健管理センターではフィジカルとメンタルヘルスの講演会を開いている。内容はその時期に問題となる話題を取り上げ行っている。特にメンタル系では初心者研修、教員研修、メンタルヘルスクライシスマネジメントなどの職員を対象とした研修会を定期的に行っている。健康教室に関しては禁煙教育、メンタルヘルス対策を中心に取り組んでいる。また、学生サークルに対する健康教育も、救急法や熱中症予防などの指導などを中心に、保健師が主体となり、希望がある場合は少人数であっても時間の許す範囲で行ってきた。今後は労働安全衛生活動の視点から、学生を中心とした研究室における安全衛生対策が重要な課題である。

#### ①保健管理センター講演会

開催日	場所	対象	講師	演題	人数
2016/2/18	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山大学 原田 新	障害者差別解消法と岡山大学障がい学生支援室のご紹介	150
2017/2/16	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山大学 小倉 俊郎	ロコモ・メタボ予防のために～今から考えておきたい生活習慣～	106
2018/2/22	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	広島大学 岡本 百合	過食と拒食～やせを追求することの問題	107
2020/2/13	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山中央病院 セントラル・クリニック 伊島 金重 恵美子	学生時代を輝かせるために～大学生必携最新情報～	114

#### ②メンタルヘルス講演会

開催日	場所	対象	講師	演題	人数
2016/2/18	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	関西学院 杉田 義郎	メンタルヘルスと生活習慣	140
2017/2/16	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	島根大学 河野 美江	性暴力について	82
2018/2/22	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山大学病院 大島 義孝	セクシャルマイノリティーと医療、教育、社会	108
2020/2/13	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山大学 千田 真友子	摂食障害について	107

#### ③メンタルヘルスクライシスマネジメント研修会

対象：部局長，学生生活委員長，教務委員長，部長，課長，事務長，室長，留学生担当者，健康管理担当者等

開催日	回	場所	演題	講師
2015/9/3	18	本部棟 6 階 第一会議室	改正労働安全衛生法によるストレスチェック制度開始について －管理者及び健康管理担当者のための知識と最新情報－	岡山大学保健管理センター 清水 幸登
2016/3/3	19	創立50周年記念館 大会議室	障害者差別解消法について	岡山大学学生支援センター障がい学生支援室 原田 新 岡山大学保健管理センター 清水 幸登
2016/9/8	20	創立50周年記念館 大会議室	新入生のメンタルヘルスへの配慮の要点 －新入生全学ガイダンス「岡山大学入門講座」を担当して見えたもの－	岡山大学保健管理センター 清水 幸登

2017/3/2	21	創立50周年記念館 大会議室	職員のメンタルヘルス対策 一次, 二次, 三次 予防 ※秋季安全衛生講習会と同内容	岡山大学保健管理センター 清水 幸登
2017/9/14	22	創立50周年記念館 大会議室	受け入れ留学生のメンタルヘルス対策	岡山大学保健管理センター 清水 幸登
2018/3/15	23	創立50周年記念館 大会議室	新入生（留学生を含む）を受け入れるにあたって配慮したいこと	岡山大学保健管理センター 清水 幸登

#### ④安全衛生講習会

安全衛生部主催で全教職員，あるいは学生及び学内関係者を対象に実施された。

年度	開催日	主な対象者	場所	講師	講習テーマ
2015年度	2015/6/11	教職員	本部棟6階 第二会議室	清水 幸登 河原 宏子	肩こり予防 ～長時間のデスクワークや実験を遂行するために～
	2015/6/11	教職員	本部棟6階 第二会議室	岩崎 良章	熱中症予防対策及び屋外作業における安全衛生
	2015/6/26	教職員（鹿田）	記念会館2階 会議室	大西 勝	職場のメンタルヘルス対応について
2016年度	2016/7/7	教職員（津島）	創立五十周年 記念館2階 大会議室	清水 幸登 河原 宏子	ストレスチェック
	2016/7/29	教職員（鹿田）	記念会館2階 会議室	大西 勝	ストレスチェック
	2016/10/4	事務系及び技術系職員 （鹿田地区主査以上・主任以下）	記念会館2階 会議室	大西 勝 河原 宏子	職員のメンタルヘルス
	2016/10/7	教員以外の職員（鹿田地区以外）	自然科学研究科棟 2階大会議室	清水 幸登 河原 宏子	職員のメンタルヘルス対策 一次，二次，三次予防
	2016/10/13	教員以外の職員（鹿田地区以外）	創立五十周年 記念館2階 会議室	清水 幸登 河原 宏子	職員のメンタルヘルス対策 一次，二次，三次予防
	2016/10/21	教員以外の職員（鹿田地区以外）	自然科学研究科棟 2階大会議室	清水 幸登 河原 宏子	職員のメンタルヘルス対策 一次，二次，三次予防
	2016/10/26	教職員及び学生	本部棟6階 第一会議室	谷口 暁彦	水がないのにおぼれる COPD! ～あなたの肺年齢をチェックしてみよう～
2017年度	2017/10/6	事務系及び技術系職員 （鹿田地区主査以上・主任以下）	記念会館2階 会議室	大西 勝	職員のメンタルヘルス
2018年度	2018/7/5	外国人教職員	創立五十周年 記念館2階 大会議室	清水 幸登	異文化における外国人教員等のメンタルヘルス
	2018/8/2	教職員及び学生	本部棟6階 第一会議室	講演： 岩崎 良章 江國 大輔* 禁煙個別相談： 保健管理センター医師及び保健師	受動喫煙防止講習会「キャンパス内全面禁煙を問う！」
	2018/10/16	事務系及び技術系職員 （鹿田地区主査以上・主任以下）	記念会館2階 会議室	大西 勝	職場のメンタルヘルス
	2018/11/1	外国人教職員	本部棟6階 第一会議室	清水 幸登	異文化における外国人教員等のメンタルヘルス
	2019/2/7	教職員及び学生	本部棟6階 第一会議室	講演： 岩崎 良章 森松 博史* 禁煙個別相談： 保健管理センター医師及び保健師	受動喫煙防止講習会「キャンパス内全面禁煙を問う！」
2019年度	2019/10/4	教職員	本部棟6階 第一会議室	岡部 伸幸	職場の人間関係とメンタルヘルス
	2019/10/18	事務系及び技術系職員 （鹿田地区主査以上・主任以下）	記念会館2階 多目的室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス
	2019/10/30	教職員及び学生	本部棟6階 第一会議室	二宮 崇	『新型タバコを理解する』～新型タバコは本当に無害なのか～

\* 大学院医歯薬学総合研究科

⑤禁煙教育

禁煙教育として安全衛生講習の中で講習会を開催した。(安全衛生講習会参照)

禁煙相談外来

年度	受診者 (のべ人数)	
	津島地区	鹿田地区
2015年	6	0
2016年	9	0
2017年	0	0
2018年	1	0
2019年	5	0

⑥学生サークル・グッドジョブセンター等に対する健康教育

救急法や熱中症予防などを中心として、下記のように講習会を行った。

年度	開催日	場所	対象	講師	講習テーマ	人数
2015年度	6月3日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター	中山 光 岡 香織	熱中症予防	40
	6月17日	フィールド科学センター	グッドジョブ支援センター 農場職員	中山 光	熱中症予防	23
	12月25日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター 人事課2名	岩崎 良章 岡 香織	感染性汚染物処理	20
2016年度	6月3日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター 軽作業員	谷口 暁彦 古本 友里 岡 香織	熱中症	30
	7月1日	グッドジョブ支援センター 農場	グッドジョブ支援センター 農場	谷口 暁彦	熱中症	26
	3月9日	保健管理センター	運動部マネージャー	津島 愛子 岡 香織	外傷	15
2017年度	6月1日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター	古本 友里 岡 香織	熱中症	30
	6月1日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター 職員	森村 知里 岡 香織	栄養講習会	46
	3月9日	グッドジョブ支援センター 農場	グッドジョブ支援センター 職員	森村 知里 岡 香織	栄養講習会	20
	3月14日	農場	農学部 (農場)	二宮 崇 岡 香織	救急法	20
2018年度	6月15日	グッドジョブ支援センター	グッドジョブ支援センター 作業員	岡 香織	熱中症 (ハチ, チャドクガ)	40
	6月21日	農場	グッドジョブ支援センター 農場作業員	岡 香織	熱中症 (ハチ, チャドクガ)	15
	7月5日	保健管理センター 2F講義室	ワンダーフォーゲル部	岡 香織	救急法, RICE, 搬送	5
	7月11日	保健管理センター 2F講義室	ワンダーフォーゲル部	岡 香織	救急法, RICE, 搬送	14

2019年度	6月17日	50周年大会議室	グッドジョブ 支援センター 作業員」	岡 香織	熱中症（ハチ、チャドクガ）	45
	6月18日	保健管理センター 2F講義室	ワンダーフォーゲル部	古本 友里	救急法	5

## IV. 学術研究活動

保健管理センター職員が関連した研究業績のうち、保健管理センターの業務に関連が深いもののみを年度別に記載した。

### (1) 学会・研究会発表

5年間の学会・研究会発表について、演題名、発表者、学会（研究会）名、開催地、日時の順に年度別に記載した。

#### 2015（平成27）年度

飲酒パターンと脂肪肝の発症・改善に関する経時的検討

守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平, 松三明宏, 寺澤裕之, 森藤由記, 幡 英典, 萱嶋英三, 光宗皇彦, 安東正晴

第112回日本内科学会講演会

京都市

2015年4月12日

C型慢性肝炎症例に対するシメプレビル3剤併用療法の治療適応の検討, テラプレビルとの比較

池田房雄, 岩崎良章, 山本和秀

第101回日本消化器病学会総会

宮城県仙台市

2015年4月23日

Characterization of Cancer Stem Cell Model from Mouse Induced Pluripotent Stem Cells Treated with Conditioned Medium of Human Hepatoma Cell Lines

Yoshiaki Iwasaki, Tomonari Kasai, Kenta Hoshikawa, Shuto Takejiri, Kazuhide Yamamoto, Masaharu Seno

50<sup>th</sup> Annual Meeting of the European Association for the Study of the Liver

Vienna, Austria

2015年4月22日～26日

Factors associated with the development of fatty liver or glucose intolerance

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Souhei Ohguchi, Eizo Kayashima, Tadahiko Mitsumune, Hideaki Taniguchi, Masaharu Ando

50<sup>th</sup> Annual Meeting of the European Association for the Study of the Liver

Vienna, Austria

2015年4月22日～26日

The Longitudinal Association between Alcohol Consumption and Fatty Liver in Japanese Subjects

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Souhei Ohguchi, Eizo Kayashima, Tadahiko Mitsumune, Hideaki Taniguchi, Masaharu Ando

Digestive Disease Week May 17-19, 2015

Washington, DC, USA

2015年5月17日

非アルコール性脂肪性肝疾患における血清 Irisin の検討

岩崎良章, 池田房雄, 下村泰之, 和田 望, 森元裕貴, 竹内康人, 安中哲也, 三宅康広, 高木章乃夫, 山本和秀

第51回日本肝臓学会総会

熊本市

2015年5月21日

飲酒と脂肪肝の経時的相関

守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平

第51回日本肝臓学会総会

熊本市

2015年5月21日

メタボリックシンドローム関連疾患と脂肪肝の経時的検討

守屋昭男, 岩崎良章, 吉田賢司, 鎮守さやか, 吉田泰成, 森藤由記, 堀口正樹, 井上謙太郎, 藤川達也,  
幡 英典, 米井泰治, 安東正晴

第2回肝臓と糖尿病・代謝研究会

シーモールパレス (山口県下関市)

2015年5月22日

当大学における電離放射線取扱者健診について～現状紹介と問題点～

山際陽子, 岩崎良章, 森田知子, 中西順子, 岡 香織, 内藤恵子, 黒木清美, 中山 光, 河原宏子, 清水幸登,  
大西 勝, 小倉俊郎

第45回中国・四国大学保健管理研究集会

徳島大学 大塚講堂 (蔵本キャンパス) (徳島市)

2015年8月26日～28日

職員健診におけるオプション検査の試み

中山 光, 岡 香織, 内藤恵子, 黒木清美, 森田知子, 山際陽子, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章,  
小倉俊郎

第45回中国・四国大学保健管理研究集会

徳島大学 大塚講堂 (蔵本キャンパス) (徳島市)

2015年8月26日～28日

保健管理センターでの外傷処置の現状～10年前との比較～

岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 森田知子, 山際陽子, 河原宏子, 中山 光, 清水幸登, 岩崎良章, 大西 勝,  
小倉俊郎

第45回中国・四国大学保健管理研究集会

徳島大学 大塚講堂 (蔵本キャンパス) (徳島市)

2015年8月26日～28日

大学病院におけるメンタルヘルス産業医活動～4年間を振り返って～

大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子,  
中山 光, 岩崎良章, 小倉俊郎

第45回中国・四国大学保健管理研究集会

徳島大学 大塚講堂 (蔵本キャンパス) (徳島市)

2015年8月26日～28日

医療系学生における第3期・第4期予防接種実施前後の麻疹・風疹抗体の推移

岩崎良章, 黒木清美, 今井あゆみ, 山際陽子, 岡 香織, 内藤恵子, 中西順子, 森田知子, 中山 光,  
河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎

第53回全国大学保健管理研究集会

盛岡市民文化ホール (岩手県盛岡市)

2015年9月9日・10日

岡山大学メンタルヘルス対策推進室の紹介－設立経緯と活動内容－

清水幸登, 大西 勝, 妹尾明子, 河原宏子, 兒山志保美, 岡 香織, 中山 光, 岩崎良章, 小倉俊郎,

明石 正, 峯 光弘, 川本章仁  
第53回全国大学保健管理研究集会  
盛岡市民文化ホール (岩手県盛岡市)  
2015年9月9日・10日

Abdominal obesity, rather than fatty liver, contributes to the development of diabetes mellitus in prediabetic individuals

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Souhei Ohguchi, Masaharu Ando  
第19回日本肝臓学会大会  
東京都  
2015年10月9日

ストレスチェック制度を教職員はどのように捉えているのか  
ーストレスチェック制度研修会無記名アンケートの結果よりー  
清水幸登, 妹尾明子, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 小倉俊郎  
第37回全国大学メンタルヘルス研究会  
福岡リフトリサーチパークセンタービル ももち浜SRPホール (福岡市)  
2015年12月10日・11日

人間ドック受診者におけるFIB-4 Index上昇に関与する因子の検討  
守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平, 安東正晴  
第41回日本肝臓学会西部会  
名古屋市  
2015年12月3日

A Common variant in the PNPLA3 in university students with non-alcoholic fatty liver disease  
Yoshiaki Iwasaki, Hikari Nakayama, Husao Ikeda, Hiroyuki Okada, Toshio Ogura  
The 25th Annual Conference of APASL  
東京都  
2016年2月20日～24日

Factors associated with the increase in FIB-4 score: a longitudinal study  
Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Souhei Ohguchi, Eizo Kayashima, Tadahiko Mitsunune, Masaharu Ando  
The 25th Annual Conference of APASL  
東京都  
2016年2月20日～24日

#### 2016 (平成28) 年度

人間ドック受診者における喫煙と脂肪肝の相関に関する経時的検討  
守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平, 森藤由記, 秋田光洋, 幡 英典, 安東正晴  
第102回日本消化器病学会総会  
東京都  
2016年4月23日

耐糖能異常・脂質異常症と脂肪肝の経時的検討  
守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平  
第52回日本肝臓学会総会  
ホテルニューオータニ幕張, 東京ベイ幕張ホール (千葉県美浜区)  
2016年5月19日・20日



Roles of Fatty Liver in Glucose Intolerance and Dyslipidemia: A Longitudinal Study

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Souhei Ohguchi, Eizo Kayashima, Tadahiko Mitsumune, Hideaki Taniguchi, Masaharu Ando

Digestive Disease Week May 21-24, 2016

San Diego, CA, USA

2016年5月23日

Effect of Helicobacter pylori Eradication on Glucose and Lipid Metabolism in a General Population: A Longitudinal Study

Hideaki Taniguchi, Yoshiaki Iwasaki, Akio Moriya, Hiroyuki Okada

Digestive Disease Week May 21-24, 2016

San Diego, CA, USA

2016年5月23日

Effect of Helicobacter pylori Eradication on Anemia, Inflammation, and Nutritional status in a General Population: A Longitudinal Study

Hideaki Taniguchi, Yoshiaki Iwasaki, Akio Moriya, Hiroyuki Okada

Digestive Disease Week May 21-24, 2016

San Diego, CA, USA

2016年5月23日

学生定期健康診断における胸部X線検査の有用性について

谷口暁彦, 岩崎良章, 中山 光, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎

第46回中国・四国大学保健管理研究集会

ホテル広島ガーデンパレス (広島市)

2016年8月24日～26日

IGRA判定に関する一考察 ～本学における結核発生事例より～

岩崎良章, 中山 光, 岡 香織, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎

第46回中国・四国大学保健管理研究集会

ホテル広島ガーデンパレス (広島市)

2016年8月24日～26日

敷地内全面禁煙に伴う学生の喫煙率および意識変化

古本友理, 岩崎良章, 影山真希, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎

第46回中国・四国大学保健管理研究集会

ホテル広島ガーデンパレス (広島市)

2016年8月24日～26日

新しく開講された新生生全学ガイダンスを担当して見えたもの

清水幸登, 岸めぐみ, 妹尾明子, 河原宏子, 大西 勝, 中山 光, 谷口暁彦, 岩崎良章, 小倉俊郎

第46回中国・四国大学保健管理研究集会

ホテル広島ガーデンパレス (広島市)

2016年8月24日～26日

職員の尿中コチニン測定～敷地内全面禁煙前後の比較～

岩崎良章, 中山 光, 谷口暁彦, 影山真希, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登,

大西 勝, 小倉俊郎  
第54回全国大学保健管理研究集会  
大阪国際会議場 (大阪市)  
2016年10月5日・6日

研修医のメンタルヘルス支援 ～支援の枠組について～  
大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 古本友里, 岡 香織, 黒木清美, 谷口暁彦,  
岩崎良章, 小倉俊郎  
第54回全国大学保健管理研究集会  
大阪国際会議場 (大阪市)  
2016年10月5日・6日

大学職員の尿中コチニン測定 - 敷地内全面禁煙前後での検討 -  
岩崎良章, 小倉俊郎  
第11回日本禁煙科学会学術総会  
京都大学 医学部 芝蘭会館 (京都市)  
2016年10月29日・30日

セッション: ワークショップ2 消化器疾患と代謝異常の関わり  
若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるTM6SF2遺伝子多型と脂質代謝の検討  
岩崎良章, 中山 光, 池田房雄  
第20回日本肝臓学会総会JDDW2016  
神戸コンベンションセンター (兵庫県神戸市)  
2016年11月3日

## 2017 (平成 29) 年度

Roles of metabolic syndrome-related factors in gastroesophageal reflux disease: A longitudinal study  
Akio Moriya, Kozue Suto, Hisae Yasuhara, Yuki Moritou, Mitsuhiro Akita, Hitomi Endo, Hideki Jinno,  
Hidenori Hata, Morihito Nakatsu, Yoshiaki Iwasaki, Masaharu Ando.  
Digestive Disease Week May 6-9, 2017  
Chicago, IL, USA  
2017年5月6日～9日

非アルコール性脂肪性肝疾患におけるPNPLA3およびTM6SF2遺伝子多型の組織学的検討  
岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 下村泰之, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第53回日本肝臓学会総会  
広島市  
2017年6月8日・9日

FIB-4 Index上昇に關与する生活習慣病關連因子の検討  
守屋昭男, 岩崎良章, 安東正晴  
第53回日本肝臓学会総会  
広島市  
2017年6月8日・9日

在校生健康診断における尿糖陽性者の検討  
樋口千草, 影山真希, 山際陽子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 清水幸登, 谷口暁彦, 河原宏子, 大西 勝,  
岩崎良章  
第47回中国・四国大学保健管理研究集会  
高知会館 (高知市)

2017年8月23日～25日

医療系ワクチン接種体制の変更と今後の課題

黒木清美, 中西順子, 兒山志保美, 古本友理, 岡 香織, 谷岡修司, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章

第47回中国・四国大学保健管理研究集会

高知会館（高知市）

2017年8月23日～25日

医療系地区事務職員の業務環境の特徴について

大西 勝, 兒山志保美, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章

第47回中国・四国大学保健管理研究集会

高知会館（高知市）

2017年8月23日～25日

若年成人の非アルコール性脂肪性疾患における遺伝子多型と白血球分画の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之

第21回日本肝臓学会総会JDDW2017

福岡市

2017年10月13日

健康診断システムの更新について

山際陽子, 影山真希, 岡 香織, 古本友理, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章

第55回全国大学保健管理研究集会

沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

2017年11月29日～30日

医療系学生における定期インターフェロン $\gamma$ 遊離試験の検査法と陽性率についての検討

谷口暁彦, 樋口千草, 中山 光, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章

第55回全国大学保健管理研究集会

沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

2017年11月29日・30日

大学新生が抱える不安－全新生ガイダンスにおける無記名アンケート結果から－

清水幸登, 福永美加, 影山真希, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 谷口暁彦, 樋口千草, 岩崎良章

第55回全国大学保健管理研究集会

沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

2017年11月29日・30日

研修医へのメンタルヘルス支援－卒後研修センターとの連携－

兒山志保美, 大西 勝, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章

第55回全国大学保健管理研究集会

沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

2017年11月29日・30日

集団特性としてのコミュニケーションタイプ－学生・教職員・留学生の場合－

清水幸登, 福永美加, 岩崎良章  
第39回全国大学メンタルヘルス研究会  
愛知教育大学 本部棟第一会議室 (刈谷市)  
2017年12月14日・15日

#### 2018 (平成 30) 年度

人間ドック受診者における脂肪肝と飲酒量の変化  
守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平, 安東正晴  
第104回日本消化器病学会総会  
京王プラザホテル (東京都)  
2018年4月19日

FIB-4 index as a possible effective tool to screen an initial development of hepatocellular carcinoma in patients with diabetes mellitus

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Masaharu Ando  
APASL STC 2018  
Yokohama  
2018年5月11日～13日

Non-high-density lipoprotein may correlate directly with fatty liver, but inversely with liver fibrosis

Akio Moriya, Hidenori Hata, Yoshiaki Iwasaki, Masaharu Ando  
Digestive Disease Week  
Washington, DC, USA  
2018年6月2日～5日

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患の経過における遺伝子多型の解析

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第54回日本肝臓学会総会  
大阪市  
2018年6月14日

脂肪肝に対する飲酒開始/禁酒の影響

守屋昭男, 岩崎良章, 大口創平  
第54回日本肝臓学会総会  
大阪市  
2018年6月15日

B型肝炎ワクチン接種におけるアレルギー保有者への対応

黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 影山真希, 岡 香織, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章  
第48回中国・四国大学保健管理研究集会  
白兔会館 (鳥取市)  
2018年8月29日～31日

クォーター制・60分授業導入における学生健康診断受診率確保の工夫

岡 香織, 黒木清美, 山際陽子, 影山真希, 二宮 崇, 樋口千草, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章  
第48回中国・四国大学保健管理研究集会  
白兔会館 (鳥取市)  
2018年8月29日～31日

学生定期健康診断における胸部X線検査所見の経時的検討

二宮 崇, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 影山真希, 樋口千草, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章

第48回中国・四国大学保健管理研究集会

白兔会館 (鳥取市)

2018年8月29日～31日

学生健康診断における尿糖陽性者への2次検診についての検討

樋口千草, 和田 淳, 影山真希, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 二宮 崇, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章

第56回全国大学保健管理研究集会

品川区立総合区民会館 (東京都品川区)

2018年10月3日・4日

医療系学生における入学時HBs抗体陽性者の実態と対応についての検討

岩崎良章, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 岡 香織, 影山真希, 古本友理, 森田知子, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝

第56回全国大学保健管理研究集会

品川区立総合区民会館 (東京都品川区)

2018年10月3日・4日

医療系留年学生への対応について～教務担当教員・事務との合同面談～

大西 勝, 兒山志保美, 福永美加, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章

第56回全国大学保健管理研究集会

品川区立総合区民会館 (東京都品川区)

2018年10月3日・4日

High-density lipoprotein levels and uric acid levels may be useful to distinguish alcoholic fatty liver and nonalcoholic fatty liver

Akio Moriya, Yoshiaki Iwasaki, Eizo Kayashima, Tadahiko Mitsumune, Hideaki Taniguchi, Masaharu Ando  
UEGW 2018

Vienna, Austria

2018年10月20日～24日

Comprehensive analysis of factors determinant for erosive reflux esophagitis: significance of demographic/lifestyle factors is emphasized in Helicobacter pylori-noninfected subjects

Hideaki Taniguchi, Yoshiaki Iwasaki, Masahito Aimi, Hiroyuki Okada

UEGW 2018

Vienna, Austria

2018年10月20日～24日

Pepsinogen I / II ratio is an excellent biomarker to estimate the grade of gastric atrophy in both Helicobacter pylori-infected and noninfected subjects: optimal cutoff point to identify severe atrophic gastritis

Hideaki Taniguchi, Yoshiaki Iwasaki, Masahito Aimi, Hiroyuki Okada

UEGW 2018

Vienna, Austria

2018年10月20日～24日

非アルコール性脂肪性肝疾患における遺伝子多型と非アルコール性脂肪肝炎関連因子の検討  
岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第22回日本肝臓学会大会  
神戸コンベンションセンター (兵庫県神戸市)  
2018年11月1日

大学新生が自覚する疲れ  
清水幸登, 岩崎良章  
第42回日本心身医学会中国・四国地方会  
岡山大学マスカットホール (岡山市)  
2018年11月18日

第40回全国大学メンタルヘルス学会総会  
総会長: 清水幸登  
実行委員: 岩崎良章, 大西 勝, 二宮 崇, 樋口千草, 河原宏子 他 保健管理センタースタッフ一同,  
安全衛生部  
第40回全国大学メンタルヘルス学会  
岡山大学創立50周年記念館 (岡山市)  
2018年12月6・7日

#### 2019 (平成31・令和元) 年度

人間ドック受診者における飲酒パターン別のFib-4 scoreの経時的変化  
守屋昭男, 間嶋莊一郎, 山内健司, 永原照也, 岩崎良章, 安東正晴  
第55回日本肝臓学会総会  
京王プラザホテル (東京都)  
2019年5月30日

非アルコール性脂肪性肝疾患におけるTLL1遺伝子多型の組織学的検討  
岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第55回日本肝臓学会総会  
京王プラザホテル (東京都)  
2019年5月31日

学生保健ネットワークによる学内情報提供の検討 ～10年度の比較～  
岡 香織, 古本友理, 黒木清美, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩  
崎良章  
第49回中国・四国大学保健管理研究集会  
にぎたつ会館 (愛媛県松山市)  
2019年8月28日～30日

メンタルヘルス支援のkey word (看護師編)  
大西 勝, 兒山志保美, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子,  
岡部伸幸, 岩崎良章  
第49回中国・四国大学保健管理研究集会  
にぎたつ会館 (愛媛県松山市)  
2019年8月28日～30日

留学生の健康診断時血圧の地域別検討と血圧の高い留学生への健康指導の要点  
樋口千草, 影山真希, 山際陽子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 二宮 崇, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝,  
岩崎良章

第49回中国・四国大学保健管理研究集会  
にぎたつ会館（愛媛県松山市）  
2019年8月28日～30日

学生の非アルコール性脂肪疾患における遺伝的素因の検討  
岩崎良章, 中山 光, 森田知子, 岡 香織, 樋口千草, 二宮 崇, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 影山真希,  
古本友理, 内藤恵子, 兒山志保美, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝  
第57回全国大学保健管理研究集会  
札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）  
2019年10月9日・10日

社会保険労務士との協働によるメンタルヘルス支援  
兒山志保美, 大西 勝, 河原宏子, 岡部伸幸, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇,  
岩崎良章  
第57回全国大学保健管理研究集会  
札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）  
2019年10月9日・10日

留学生定期健康診断における胸部X線検査所見の検討  
二宮 崇, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 古本友理, 内藤恵子, 影山真希, 樋口千草, 河原宏子, 岡部伸幸,  
大西 勝, 岩崎良章  
第57回全国大学保健管理研究集会  
札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）  
2019年10月9日・10日

非アルコール性脂肪性肝疾患におけるTTC39B遺伝子多型の検討  
岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第23回日本肝臓学会大会JDDW2019  
神戸コンベンションセンター（兵庫県神戸市）  
2019年11月22日

## （2）論文・報告書など

5年間の論文や報告書について、保健管理センターに関連のあるもののみについて、著書名、題名、雑誌名、巻（号）、発表年の順に年度別に記載した。

### 2015（平成27）年度

山際陽子, 岩崎良章, 森田知子, 中西順子, 岡 香織, 内藤恵子, 黒木清美, 中山 光, 河原宏子, 清水幸登,  
大西 勝, 小倉俊郎：当大学における電離放射線取扱者健診について～現状紹介と問題点。第45回中国・  
四国大学保健管理研究集会報告書：51-54（2015）。

中山 光, 岡 香織, 内藤恵子, 黒木清美, 森田知子, 山際陽子, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章,  
小倉俊郎：職員健診におけるオプション検査の試み。第45回中国・四国大学保健管理研究集会報告書：  
55-57（2015）。

岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 森田知子, 山際陽子, 河原宏子, 中山 光, 清水幸登, 岩崎良章, 大西 勝,  
小倉俊郎：保健管理センターでの外傷処置の現状～10年前との比較～。第45回中国・四国大学保健管  
理研究集会報告書：86-89（2015）。

大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子,

中山 光, 岩崎良章, 小倉俊郎: 大学病院におけるメンタルヘルス産業医活動～4年間を振り返って～. 第45回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 92-94 (2015).

黒木清美, 岩崎良章, 中西順子, 兒山志保美, 岡 香織, 内藤恵子, 谷岡修司, 古賀 光, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 医療系ワクチン接種の現状における課題 看護職の立場から. CAMPUS HEALTH 52 (1): 246-247 (2015).

古賀 光, 小倉俊郎, 内藤恵子, 岡 香織, 黒木清美, 山際陽子, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: 大学新生における腎機能の検討. CAMPUS HEALTH 52 (1): 258-260 (2015).

兒山志保美, 大西 勝, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 古賀 光, 岩崎良章, 小倉俊郎: 新人看護師への採用時のメンタルヘルス研修 たくましく生き延びるために. CAMPUS HEALTH 52 (1): 312-314 (2015).

大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 古賀 光, 岩崎良章, 小倉俊郎: 新人看護師のメンタルヘルス症候群. CAMPUS HEALTH 52 (1): 315-316 (2015).

清水幸登, 妹尾明子, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 小倉俊郎: 職場のメンタルヘルス悪化要因に対してメンタル系産業医がかかわれること. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書: 73-75 (2015).

#### 2016 (平成 28) 年度

谷口暁彦, 岩崎良章, 中山 光, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 学生定期健康診断における胸部X線検査の有用性について. 第46回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 39-43 (2016).

岩崎良章, 中山 光, 岡 香織, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: IGRA判定に関する一考察 ～本学における結核発生事例より～. 第46回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 72-76 (2016).

古本友理, 岩崎良章, 影山真希, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 敷地内全面禁煙に伴う学生の喫煙率および意識変化. 第46回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 98-101 (2016).

清水幸登, 岸めぐみ, 妹尾明子, 河原宏子, 大西 勝, 中山 光, 谷口暁彦, 岩崎良章, 小倉俊郎: 新しく開講された新生全学ガイダンスを担当して見えたもの. 第46回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 102-106 (2016).

岩崎良章, 黒木清美, 今井あゆみ, 山際陽子, 岡 香織, 内藤恵子, 中西順子, 森田知子, 中山 光, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 医療系学生における第3期・第4期予防接種実施前後の麻疹・風疹抗体の推移. CAMPUS HEALTH 53 (1): 283-285 (2016).

清水幸登, 大西 勝, 妹尾明子, 河原宏子, 兒山志保美, 岡 香織, 中山 光, 岩崎良章, 小倉俊郎, 明石 正, 峯 光弘, 川本章仁: 岡山大学メンタルヘルス対策推進室の紹介ー設立経緯と活動内容ー. CAMPUS HEALTH 53 (1): 305-307 (2016).

清水幸登, 妹尾明子, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 小倉俊郎: ストレスチェック制度を教職員はどのように捉えているのかーストレスチェック制度研修会無記名アンケートの結果よりー. 第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書: 120-123 (2016).



大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登

各領域から考える自殺予防と精神保健－大学, 病院, 企業における現状と課題－ 大学生の自殺予防とメンタルヘルス

精神神経学雑誌 118(1): 22-27, 2016. 1 ISSN 0033-2658

## 2017 (平成 29) 年度

樋口千草, 影山真希, 山際陽子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 清水幸登, 谷口暁彦, 河原宏子, 大西 勝, 岩崎良章: 在校生健康診断における尿糖陽性者の検討. 第47回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 26-29 (2017).

黒木清美, 中西順子, 兒山志保美, 古本友理, 岡 香織, 谷岡修司, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: 医療系ワクチン接種体制の変更と今後の課題. 第47回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 39-41 (2017).

大西 勝, 兒山志保美, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章: 医療系地区事務職員の業務環境の特徴について. 第47回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 80-81 (2017).

岩崎良章, 中山 光, 谷口暁彦, 影山真希, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 職員の尿中コチニン測定～敷地内全面禁煙前後の比較～. CAMPUS HEALTH 54(1): 265 (2017).

大西 勝, 兒山志保美, 妹尾明子, 河原宏子, 清水幸登, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 谷口暁彦, 岩崎良章, 小倉俊郎: 研修医のメンタルヘルス支援～支援の枠組について～. CAMPUS HEALTH 54 (1): 403-404 (2017).

岩崎良章, 中山 光, 谷口暁彦, 影山真希, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 小倉俊郎: 職員の尿中コチニン測定による大学敷地内全面禁煙前後の受動喫煙状況の比較. CAMPUS HEALTH 54 (2): 119-124 (2017).

## 2018 (平成 30) 年度

黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 影山真希, 岡 香織, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: B型肝炎ワクチン接種におけるアレルギー保有者への対応. 第48回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 58-60 (2018).

岡 香織, 黒木清美, 山際陽子, 影山真希, 二宮 崇, 樋口千草, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: クォーター制・60分授業導入における学生健康診断受診率確保の工夫. 第48回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 100-103 (2018)

二宮 崇, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 内藤恵子, 影山真希, 樋口千草, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: 学生定期健康診断における胸部X線検査所見の経時的検討. 第48回中国・四国大学保健管理研究集会報告書: 104-107 (2018)

山際陽子, 影山真希, 岡 香織, 古本友理, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: 健康診断システムの更新について. CAMPUS HEALTH 55 (1): 80-81 (2018)

谷口暁彦, 樋口千草, 中山 光, 古本友理, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章: 医療系学生における定期インターフェロン $\gamma$ 遊離試験の検査法と陽性率についての検討. CAMPUS HEALTH 55 (1): 241-243 (2018)

清水幸登, 福永美加, 影山真希, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 谷口暁彦, 樋口千草, 岩崎良章 : 新入生が抱える不安－全学新入生ガイダンスにおける無記名アンケートから－. CAMPUS HEALTH 55 (1) : 382 (2018)

兒山志保美, 大西 勝, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 谷口暁彦, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章 : 研修医へのメンタルヘルス支援－卒後研修センターとの連携－. CAMPUS HEALTH 55 (1) : 390-392 (2018)

清水幸登, 福永美加, 影山真希, 河原宏子, 兒山志保美, 大西 勝, 谷口暁彦, 樋口千草, 岩崎良章 : 大学新入生が抱える不安への一次予防－全新入生ガイダンスにおける無記名アンケート結果から－. CAMPUS HEALTH 55 (2) : 144-149 (2018)

清水幸登, 福永美加, 岩崎良章 : 集団特性としてのコミュニケーションパターン－ある大学の学生, 留学生, 教育系・技術系職員, 事務系職員の場合－. 大学のメンタルヘルスVOL. 2 (2018)

### 2019 (平成 31・令和元) 年度

岡 香織, 古本友理, 黒木清美, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章 : 学生保健ネットワークによる学内情報提供の検討～10年度の比較～. 第49回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 : 78-80 (2019)

大西 勝, 兒山志保美, 中西順子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 岡部伸幸, 岩崎良章 : メンタルヘルス支援の key word (看護師編). 第49回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 : 94-95 (2019)

樋口千草, 影山真希, 山際陽子, 古本友理, 岡 香織, 黒木清美, 二宮 崇, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章 : 留学生の健康診断時血圧の地域別検討と血圧の高い留学生への健康指導の要点. 第49回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 : 105-106 (2019)

樋口千草, 和田 淳, 影山真希, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 二宮 崇, 清水幸登, 大西 勝, 岩崎良章 : 学生健康診断における尿糖陽性者への2次検診についての検討. CAMPUS HEALTH 56 (1) : 99-101 (2019)

岩崎良章, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 岡 香織, 影山真希, 古本友理, 森田知子, 内藤恵子, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 大西 勝 : 医療系学生における入学時HBs抗体陽性者の実態と対応についての検討. CAMPUS HEALTH 56 (1) : 271 (2019)

大西 勝, 兒山志保美, 福永美加, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇, 河原宏子, 清水幸登, 岩崎良章 : 医療系留学生への対応について ～教務担当教員・事務との合同面談～. CAMPUS HEALTH 56 (1) : 366-367 (2019)

## V. 社会貢献活動

常勤教員が当センター在職期間に学外で行った講演や講習などの活動を、講演名、演者、主催、対象、開催場所、開催期日の順に年度別に記載した。

### 2015（平成 27）年度

岡山いのちの電話第32期相談員養成講座「病める心の理解と援助」

清水幸登. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第32期相談員養成講座受講生. 岡山市. 20150602.

岡山いのちの電話第32期相談員養成講座「電話相談員の心の危機」

清水幸登. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第32期相談員養成講座受講生. 岡山市. 20151124.

### 2016（平成 28）年度

ストレスマネジメント

大西 勝. 岡山県立高梁高等学校. 在校生. 岡山県立高梁高等学校（高梁市）. 20161107.

長岡技術科学大学メンタルヘルス講習会

清水幸登. 長岡技術科学大学. 長岡技術科学大学教職員. 長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンター会議室（新潟県長岡市）. 20161130.

看護師のメンタルヘルス

大西 勝. 岡山県看護協会. 岡山県看護協会看護師. 岡山市. 20161209.

岡山いのちの電話第33期相談員養成講座「家族療法」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第33期相談員養成講座受講生. 岡山市. 20161215.

岡山いのちの電話第33期相談員養成講座「ケース研究」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第33期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201701.

第209回全国禁煙アドバイザー育成講習会in岡山「岡山大学喫煙対策－敷地内全面禁煙実施について」

岩崎良章. 日本禁煙科学会, 禁煙健康ネット岡山, 禁煙マラソン. 禁煙支援・喫煙防止教育に携わる全ての方. 岡山市立市民病院1階多目的ホール（岡山市）. 20170129.

安全衛生講演会

大西 勝. 愛媛大学. 愛媛大学学生及び教職員. 愛媛大学医学部基礎第3講義室（愛媛県東温市）. 20170303.

### 2017（平成 29）年度

三原内科会学術講演会「C型肝炎の新しい治療と今後の課題」

岩崎良章. 三原内科会, 三原市医師会, ギリアド・サイエンシズ株式会社. 医療関係者. 三原国際ホテル（広島県三原市）. 20170518.

岡山いのちの電話第34期相談員養成講座「家族療法」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第34期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201710.

職場のメンタルヘルス

大西 勝. 英田エンジニアリング. 英田エンジニアリング社員. 英田郡. 201711.

ストレスマネジメント

大西 勝. 高梁市立成羽中学校. 在校生. 高梁市立成羽中学校（高梁市）. 201712.

岡山いのちの電話第34期相談員養成講座「ケース研究」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第34期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201801.

## 2018 (平成 30) 年度

パニック障害

大西 勝. 日本女性薬剤師会研修講座. 日本女性薬剤師会岡山支部所属の薬剤師. 岡山市. 201803.

講演会「EGFR肺癌患者のOSを考慮した治療sequenceを考える会」

二宮 崇. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社. 岡山地区医療担当者. ホテルグランヴィア岡山(岡山市). 20180515.

高校生のメンタルヘルス

大西 勝. 岡山県立高梁城南高等学校. 在校生. 岡山県立高梁城南高等学校 (高梁市). 201806.

岡山いのちの電話第35期相談員養成講座「家族療法」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第35期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201810.

職場のメンタルヘルス

大西 勝. フジワラテクノアート. フジワラテクノアート社員. 岡山市. 201810.

高校生のストレスマネジメント

大西 勝. 岡山県立林野高等学校. 在校生. 岡山県立林野高等学校. 美作市. 201811.

岡山いのちの電話第35期相談員養成講座「ケース研究」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第35期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201901.

第248回全国禁煙アドバイザー育成講習会in岡山「禁煙支援と岡山大学における受動喫煙対策」

岩崎良章, 二宮崇. 日本禁煙科学会, 禁煙健康ネット岡山, 禁煙マラソン. 禁煙支援・喫煙防止教育に携わる全ての方. 岡山市立市民病院1階多目的ホール (岡山市). 20190203.

## 2019 (平成 31 年・令和元) 年度

教育講演会「高校生活とストレスコーピング」

岡部伸幸. 岡山県立岡山南高等学校. 在校生. 岡山県立岡山南高等学校 (岡山市). 20190524.

岡山いのちの電話第36期相談員養成講座「病める心の理解と援助③ (主に発達障害)」

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第36期相談員養成講座受講生. 岡山市. 20190613.

第11回岩国医療センター緩和ケア研修会 ロールプレイ/ワークショップ

岡部伸幸. 独立行政法人国立病院機構岩国医療センター. 岩国医療センター医療従事者. 岩国医療センター4階会議室 (山口県岩国市). 20190629.

岡山県緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 岡山赤十字病院. 岡山赤十字病院医療従事者. 岡山赤十字病院センター棟4階研修室(岡山市). 20190901.

2019年度自殺予防ソーシャルワーク研修 講義2「対象者の理解」 講義3「社会資源の理解と活用①～精神科領域との連携のコツ～」

岡部伸幸. 公益社団法人岡山県社会福祉会. 社会福祉士. きらめきプラザ (岡山市). 20190911.

PIPC岡山セミナー2019「精神科医との上手な付き合い方」

岡部伸幸. 日本プライマリ・ケア連合学会中国ブロック支部. プライマリ・ケア医. 岡山市立市民病院 4階大会議室 (岡山市). 20190928.

岡山いのちの電話第36期相談員養成講座「家族療法」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第36期相談員養成講座受講生. 岡山市. 201910.

A C T健康を考える日「思春期におけるストレスコントロール～悩み, 不調から病気まで」

岡部伸幸. 岡山県立岡山朝日高等学校. 2年生. 岡山県立岡山朝日高等学校第2合併教室 (岡山市). 20191023.

同窓会研修会講演「思春期の心理臨床～医療の中で臨床心理士・公認心理師に求められること～」

岡部伸幸. 岡山大学大学院教育学研究科教育臨床心理学専攻同窓会. 出席者. 岡山大学教育学部本館4階401会議室 (岡山市). 20191117.

岡山いのちの電話第36期相談員養成講座「電話相談員の危機」

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第36期相談員養成講座受講生. 岡山市. 20191217.

講演会「タバコの健康被害と禁煙のススメ」

二宮 崇. 鳥取県三朝町. 三朝町民及び町職員. 三朝町総合文化ホール (鳥取県三朝町). 20191123.

教育講演会「薬物乱用防止教室」－依存症について－

岡部伸幸. 岡山県立倉敷天城中学校. 2年生, 保護者. 岡山県立倉敷天城中学校サイエンス館サイエンスラボ1 (倉敷市). 20191126.

日本糖尿病学会中国四国地方会第57回総会 女性医師ワークショップ スモールグループディスカッション「糖尿病専門医を考える」メンター

樋口千草. 日本糖尿病学会中国四国地方会. 糖尿病専門医・研修医・医学生. あわぎんホール (徳島市). 20191206.

令和元年度中区地域精神保健福祉連絡会「ひきこもりの理解によって広げる支援」

岡部伸幸. 中区地域精神保健福祉連絡会. 中区地域精神保健福祉連絡会会員. 岡山市中区保健センター保健指導室 (岡山市). 20191217.

岡山いのちの電話第36期相談員養成講座「ケース研究」

大西 勝. 岡山いのちの電話協会. 岡山いのちの電話第36期相談員養成講座受講生. 岡山市. 202001.

第49回岡山市立市民病院病診連携研修会(3S会)「訪問診療に役立つミニ知識」「在宅診療における認知症患者への対応～非薬物療法を中心に～」

岡部伸幸. 岡山市立市民病院. 岡山市地域医療従事者. 岡山市立市民病院 (岡山市). 20200213.

## Ⅵ. 保健管理センターの概況

### (1) 概要

当センターは、岡山大学保健管理センター規程にもあるように、岡山大学における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の健康の維持・増進を図ることを目的として業務を行っている。

#### ①業務内容

岡山大学保健管理センター規程には下記のように記されており、当センターは次に掲げる業務を行っている。

- 一 保健管理に係る企画及び立案に関すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置に関すること。
- 三 健康相談、心理・精神保健相談、応急措置等健康支援に関すること。
- 四 安全衛生の整備・改善並びに予防・対策に関わる指導助言に関すること。
- 五 保健教育に関すること。
- 六 保健管理における調査・研究に関すること。
- 七 その他センターの目的を達成するために必要な事項

その具体的内容としては、主に下記の表のようなものがあげられる。

事 項	細 目	学 生	職 員
健康診断	一般定期健康診断	○：1回/年 4～5月, 6月追加健診1回 10月秋季入学者健診	○：1回/年 7月頃 追加健診2回
	採用時健康診断		○：随時
	海外派遣職員健康診断		○：随時
	特殊健康診断		○：2回/年
	放射線業務従事者等健康診断	○：2回/年	○：2回/年
	特定業務従事者健康診断		○：2回/年
	ストレスチェック		○：1回/年
	給食業務従事者健康診断 実習、課外活動の健康診断	○：随時	○：3回/年
外来診療	心身の健康相談	○：随時	○：随時
	内科診察	○：随時	○：随時
	応急措置	○：随時	○：随時
	健康診断事後措置	○：随時	○：随時
	病院紹介	○：随時	○：随時
労働安全衛生活動	安全衛生委員会（津島地区・教育学部附属学校・教育学部附属特別支援学校・資源植物科学研究所） 巡視		○：1回/月  ○：随時
	健康教育活動	メンタルヘルス講演会	○
フィジカルヘルス講演会		○	○：1回/年
メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会			○：2回/年
健康診断書の発行		○：随時	
入試救護班		○：8回/年	

## ②外来業務に関して

健康相談の外来業務として津島地区、鹿田地区ではそれぞれ以下のような週間スケジュールで、業務を行っている。

### 津島キャンパス

利用時間：月～金 8：30～17：00

対応するスタッフ：医師（常勤医及び学校医）、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床心理士、事務職員

内科とメンタルヘルス以外の専門外来は主に大学病院から学校医として派遣されている。眼科は2017年3月末で終了となった。その他の専門外来も含め、必要時は大学病院あるいは外部の医療機関を紹介している。

科目／曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	○	○	○	○	○	
メンタルヘルス相談	○	○	○	○	○	予約制
耳鼻咽喉科			○			午後 月1回
歯科	○					午後 毎週
皮膚科					○	午後 月2回
整形外科					○	午後 月2回
婦人科			○			午後 月2回
健康相談	○	○	○	○	○	保健師

### 鹿田キャンパス

利用時間：月～金 10：00～16：30

対応するスタッフ：医師（常勤医）、保健師、看護師、臨床心理士

科目／曜日	月	火	水	木	金	備考
内科			○	○	○	時間枠制
メンタルヘルス相談	○	○	○	○	○	予約制
健康相談	○	○	○	○	○	保健師

津島・鹿田の両キャンパスにおいて、自己測定コーナーとして、身長・体重・体脂肪同時測定装置、自動血圧計、自己測定視力計などを設置し、学生・職員が自由に健康チェックできるようにしている。

### メンタル部門診療体制

★半日を1コマに換算

★★週4日（週1日または不定期）

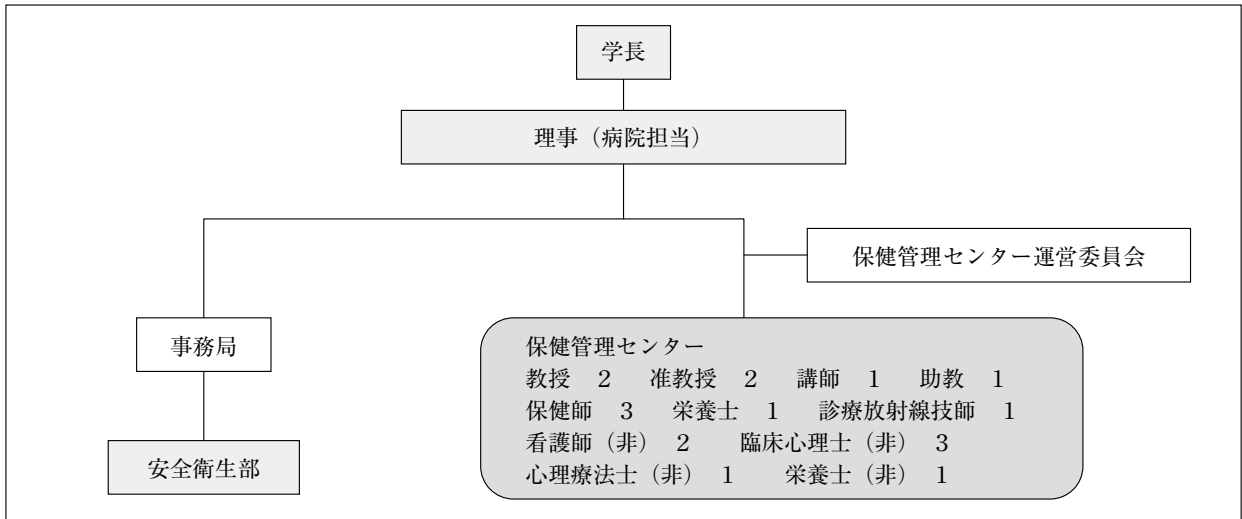
	診療日（コマ数）★	常勤精神科医	非常勤精神科医	非常勤臨床心理士★★
2015年度				
津島	5 (9.0)	1.5	0	1 (2)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	1
2016年度				
津島	5 (9.0)	1.5	0	1 (2)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	1
2017年度				
津島	5 (9.0)	1.5	0	1 (2)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	1
2018年度				
津島	5 (9.0)	2	0	(2)
鹿田	5 (9.0)	1	0	1
2019年度				
津島	5 (9.0)	2	0	(1)
鹿田	5 (9.0)	1	0	1

(2) 組織機構図

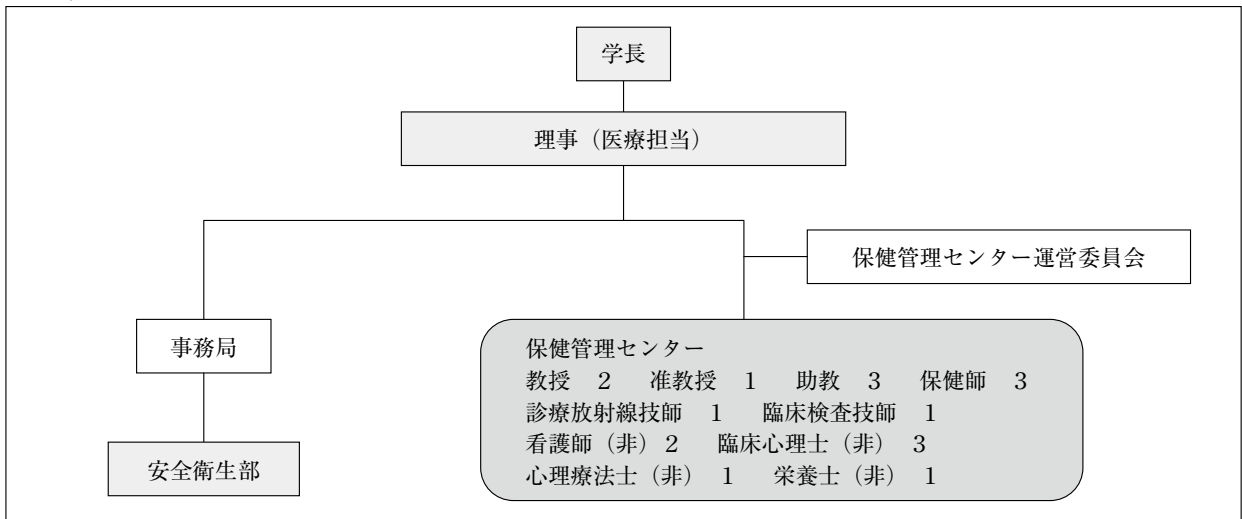
2004年4月からの国立大学法人化に伴い、保健管理センターと環境管理センターが統合され保健環境センターになり、保健部門と環境安全部門の二部門体制での再出発となった。この統合されたセンターは、岡山大学の学生及び職員の健康管理・健康増進並びに環境管理及び安全衛生管理に関する専門的業務を一体的に行い、環境の保全及び安全・衛生の充実を図ることを目的としてきた。

さらに、2008年4月1日、保健環境センターは、2004年度以前の保健管理センターと環境管理センターに再々編され、保健管理センターは全学センターとして岡山大学における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、本学の学生及び職員の健康の維持・増進を図っている。

2014年4月～

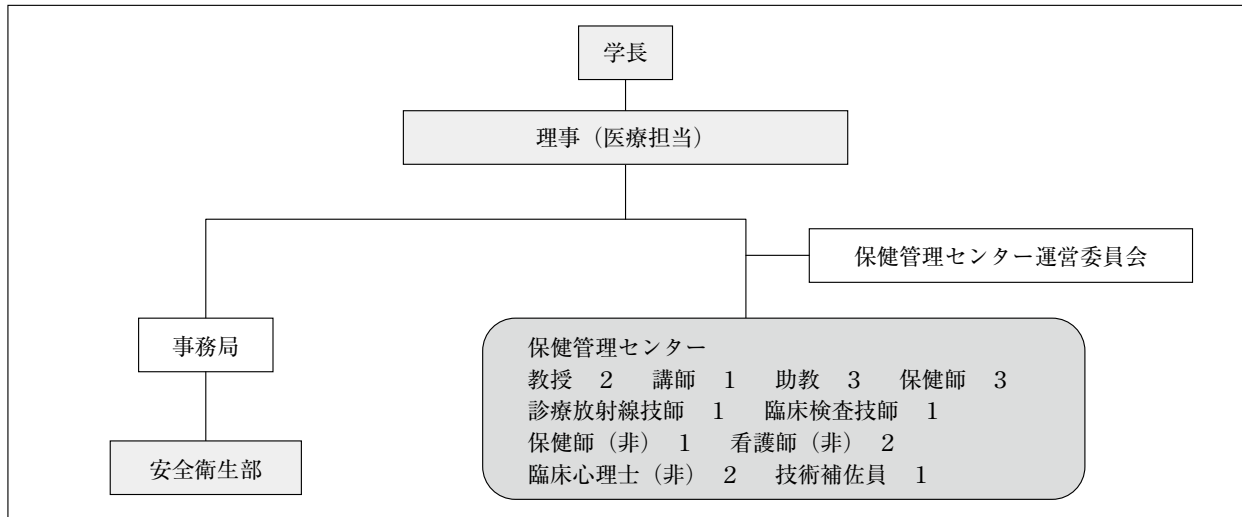


2017年4月～



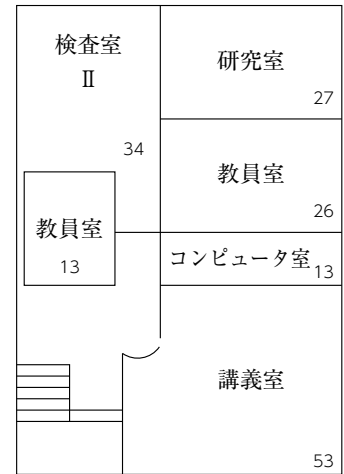


2020年3月

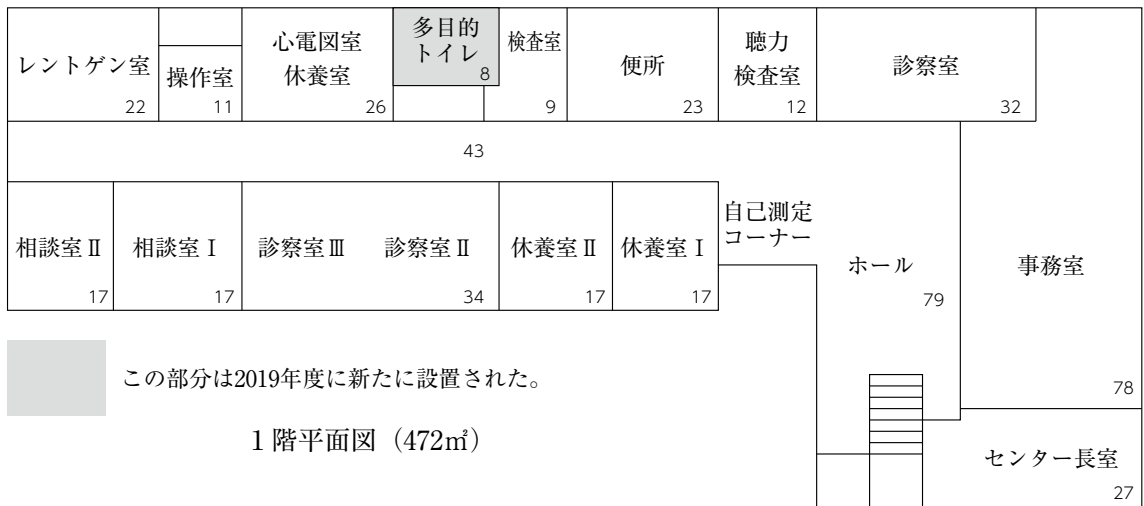


(3) 保健管理センター配置図・建物平面図

津島キャンパス



2階平面図 (198㎡)



この部分は2019年度に新たに設置された。

1階平面図 (472㎡)

鹿田キャンパス (鹿田室)



建物正面入り口



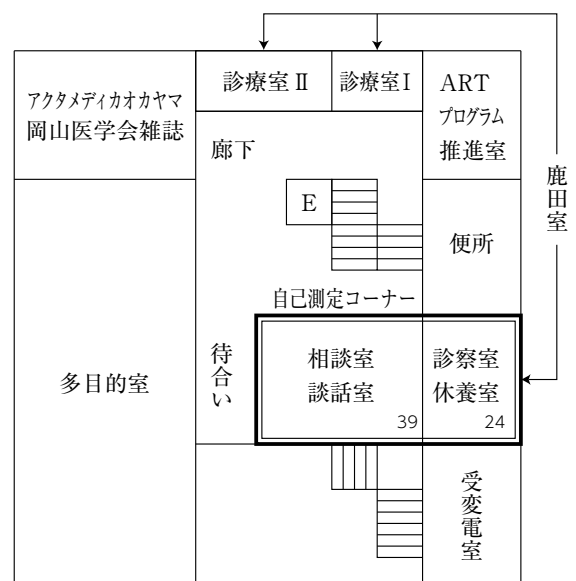
相談室・談話室



診察室・休養室



自己測定コーナー



2003年7月、医学部、歯学部及び病院のある医療系地区(鹿田キャンパス)に、保健管理センター鹿田室が設置された。

#### (4) 歴代センター長

1967年に保健管理センターが発足して以来のセンター所長を年代順に示した。1996年より、規程が改定され、保健管理センター所長は併任制となった。また、2004年の国立大学の法人化に伴い、組織替えが行われ、保健管理センターは保健環境センター保健部門と名称が変わり、保健環境センター長及び保健部門に副センター長が新たに制定された。さらに、2008年4月1日から再々編して、保健管理センターと環境管理センター（2004年度以前の名称）となり、現在に至る。

#### 保健管理センター（～2004年3月31日）

職名	氏名	在職期間	備考
所長	山吹隆寛	1967/06/01～1990/03/31	保健管理センター教授
所長	戸部和夫	1990/04/01～1996/03/31	保健管理センター教授
所長(併任)	大森浩之	1996/04/01～1998/03/31	医学部泌尿器科学教授・附属病院長
所長(併任)	荒田次郎	1998/04/01～2000/03/31	医学部皮膚科学教授・附属病院長
所長(併任)	井上一	2000/04/01～2003/03/31	医学部整形外科学教授・附属病院長
所長(併任)	横野博史	2003/04/01～2004/03/31	医学部内科学第三教授

#### 保健環境センター・保健部門（2004年4月1日～2008年3月31日）

職名	氏名	在職期間	備考
センター長(併任)	井上一	2004/04/01～2005/06/13	医学部整形外科学教授・副学長・理事
副センター長(併任)	横野博史	2005/04/01～2006/03/31	医学部内科学第三教授
センター長(併任)	清水信義	2005/06/14～2008/03/31	副学長・理事
副センター長(兼務)	清水信義	2006/04/01～2006/09/30	副学長・理事
副センター長	戸部和夫	2006/10/01～2008/03/31	保健環境センター教授

#### 保健管理センター（2008年4月1日～）

職名	氏名	在職期間	備考
センター長	戸部和夫	2008/04/01～2010/03/31	保健管理センター教授
センター長	小倉俊郎	2010/04/01～2017/03/31	保健管理センター教授
センター長	岩崎良章	2017/04/01～	保健管理センター教授

### (5) 学校医・学校歯科医名簿（非常勤）

岡山大学病院を中心に種々の医療機関より多くの先生方に学校医・学校歯科医として学生・職員の健康管理にご尽力をいただいております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。感謝の意を込めて、2015年4月1日～2020年3月31日の期間にお世話になった先生方のお名前を以下に掲載します。○は、現在（2020年4月1日）も学校医として勤務していただいている先生（順不同、敬称略）を示します。

	担当科	氏名	本務先	在職期間
	内科	池田 房雄	大学院医歯薬学総合研究科・岡山大学病院	2010/04/01～2019/03/31
	〃	池田 敏	大学院保健学研究科	1999/04/01～2016/03/31
	〃	二宮 崇	岡山大学病院	2015/04/01～2016/03/31
	〃	細谷 武史	岡山大学病院	2015/04/01～2016/03/31
	〃	当真貴志雄	岡山大学病院	2015/04/01～2016/03/31
	〃	中山 光		2016/04/01～2020/03/31
	〃	佐藤 晃子	岡山大学病院	2016/04/01～2017/03/31
	〃	益田 加奈	岡山大学病院	2016/04/01～2017/03/31
	〃	荒田 夕佳	岡山大学病院	2016/04/01～2016/09/30
	〃	田中 景子	岡山大学病院	2016/10/01～2017/03/31
	〃	浅田 騰	岡山大学病院	2017/04/01～2017/06/30
	〃	廻 勇輔	岡山大学病院	2017/04/01～2017/06/30
	〃	岡本 幸代	岡山大学病院	2017/07/01～2018/03/31
	〃	越智可奈子	岡山大学病院	2017/04/01～2018/03/31
	〃	佐伯 恭昌	岡山大学病院	2018/04/01～2019/03/31
	〃	山村裕理子	大学院医歯薬学総合研究科	2018/04/01～2019/03/31
	〃	平井 麻美	岡山大学病院	2019/04/01～2020/03/31
○	〃	加藤 有加	岡山大学病院	2019/04/01～
	〃	高橋 寛子	大学院医歯薬学総合研究科	2019/04/01～2020/03/31
○	〃	河合洋二郎	河合内科西口クリニック	2010/04/01～2018/03/31, 2018/10/01～
○	〃	川村比呂志	岡山ハートクリニック	2012/04/01～
○	〃	小倉 俊郎	佐藤病院	2017/04/01～
	〃	戸部 和夫		2017/04/01～2018/03/31
○	整形外科	千田 益生	岡山大学病院	1994/10/16～
○	〃	津島 愛子	大学院教育学研究科	2019/04/01～
○	婦人科	中塚 一女		2003/09/10～
	眼科	間野ともえ	間野眼科	2011/04/01～2017/03/31
	皮膚科	梅村 啓史	岡山大学病院	2015/04/01～2017/03/31
	〃	三宅 智子	岡山大学病院	2017/04/01～2018/03/31
	〃	高橋 正幸	岡山大学病院	2018/04/01～2019/03/31
	〃	池田 賢太	大学院医歯薬学総合研究科	2019/04/01～2020/03/31
○	耳鼻咽喉科	前田 幸英	岡山大学病院	2006/10/01～
○	歯科	江國 大輔	岡山大学病院・大学院医歯薬学総合研究科	2007/04/01～

## (6) 関係規則

現在の岡山大学保健管理センターが関係する関係規則を「岡山大学保健管理センター規程」「岡山大学保健管理センター運営委員会規程」「国立大学法人岡山大学安全衛生委員会要項」の順にあげる。

# 岡山大学保健管理センター規程

平成20年3月31日

岡大規程第8号

改正 平成21年3月27日規程第39号

平成23年3月31日規程第46号

平成23年9月27日規程第96号

平成29年3月31日規程第29号

### (趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人岡山大学管理学則（平成16年岡大学則第1号）第26条の規定に基づき、岡山大学保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

第2条 センターは、岡山大学（以下「本学」という。）における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、もって本学の学生及び職員の健康の維持・増進を図ることを目的とする。

### (業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理に係る企画及び立案に関すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置に関すること。
- 三 健康相談、心理・精神保健相談、応急措置等健康支援に関すること。
- 四 安全衛生の整備・改善並びに予防・対策に関わる指導助言に関すること。
- 五 保健教育に関すること。
- 六 保健管理における調査・研究に関すること。
- 七 その他センターの目的を達成するために必要な事項

### (自己評価等)

第4条 センターは、センターに係る自己点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、本学の職員以外の者による検証を受けることを原則とする。

### (職員)

第5条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 センター長
- 二 専任の教育職員
- 三 産業医
- 四 医療職員
- 五 その他必要な職員

### (センター長)

第6条 センター長は、センターの専任教授のうちから、医療担当理事の推薦に基づき、学長が任命する。

2 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (運営委員会)

第7条 センターに、岡山大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

### (事務)

第8条 センターの事務は、安全衛生部保健衛生管理課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターに関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

## 岡山大学保健管理センター運営委員会規程

平成20年3月31日

岡大規程第9号

改正 平成21年3月27日規程第40号

平成24年3月30日規程第30号

平成27年3月31日規程第58号

平成30年3月30日規程第20号

(趣旨)

第1条 この規程は、岡山大学保健管理センター規程（平成20年岡大規程第8号）第7条第2項の規定に基づき、岡山大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 運営委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 教員の人事のための教育研究業績の審査に関する事項

二 その他教育研究に関する重要な事項で、運営委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 運営委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次の事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

一 中期目標についての意見に関する事項

二 中期計画及び年度計画に関する事項

三 組織評価、教員活動評価、自己評価その他評価に関する事項

四 その他教育研究に関する事項で、学長が別に定めるもの

3 前2項に規定するもののほか、運営委員会は、センター長がつかさどる岡山大学保健管理センター（以下「センター」という。）に関する次の事項について審議し、及びセンター長の求めに応じ、意見を述べることができる。

一 学生及び職員の健康管理・健康増進及び衛生管理に関する事項

二 センターの運営に関する事項

(組織)

第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 センター長

二 センター専任の教授及び准教授

三 教育学研究科、社会文化科学研究科、自然科学研究科、保健学研究科、環境生命科学研究科、医

歯薬学総合研究科，ヘルスシステム統合科学研究科及び法務研究科から推薦された教授 各1人

四 総務・企画部長，学務部長及び安全衛生部長

2 前項第3号の委員の任期は，2年とし，再任を妨げない。

3 委員に欠員の生じた場合の補欠委員の任期は，前任者の残任期間とする。

4 前条第1項第1号の事項を審議する場合は，第1項第4号の委員は，加わらないものとする。

(委員長)

第4条 運営委員会に委員長を置き，センター長をもって充てる。

2 委員長は，運営委員会を招集し，その議長となる。

3 委員長に事故があるときは，委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立等)

第5条 運営委員会は，委員の半数以上の出席がなければ議事を開き，議決することができない。

2 運営委員会の議事は，出席した委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは，委員以外の者の出席を求め，その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 運営委員会の事務は，安全衛生部保健衛生管理課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか，運営委員会に関し，必要な事項は，別に定める。

附 則

この規程は，平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成30年4月1日から施行する。

## 国立大学法人岡山大学安全衛生委員会要項

平成16年4月1日

学 長 裁 定

改正 平成18年2月9日

平成21年3月27日

平成23年4月1日

平成26年3月31日

平成28年9月30日

平成31年3月29日

(趣旨)

第1条 この要項は，国立大学法人岡山大学職員労働安全衛生管理規程（平成16年岡大規程第21号）第11条第2項の規定に基づき，国立大学法人岡山大学（以下「法人」という。）の事業場ごとに置く安全衛生委員会（以下「委員会」という。）に関し，必要な事項を定めるものとする。

(調査審議事項)

第2条 委員会は，次の事項を調査審議するとともに，法人に対して必要な意見を提出するものとする。

- 一 職員の危険防止及び健康障害防止の基本となるべき対策に関する事項
- 二 職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策及び実施計画の作成に関する事項
- 三 労働災害の原因及び再発防止対策に関する事項
- 四 安全衛生に関する計画の作成、実施、評価及び改善に関する事項
- 五 安全衛生に関する規則等の作成に関する事項
- 六 安全衛生教育の実施計画の作成に関する事項
- 七 新規に導入する機械、器具その他の設備又は原材料に係る危険及び健康障害の防止に関する事項
- 八 化学物質等の危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置又はその結果に対する対策の樹立に関する事項
- 九 作業環境測定の結果及びその結果の評価に基づく対策の樹立に関する事項
- 十 健康診断及びその結果に対する対策の樹立に関する事項
- 十一 長時間にわたる労働による職員の健康障害の防止を図るための対策の樹立に関する事項
- 十二 職員の精神的健康の保持増進を図るための対策の樹立に関する事項
- 十三 快適な職場環境の形成に関する事項
- 十四 厚生労働大臣等からの文書により命令、指示、勧告又は指導を受けた事項のうち、職員の健康障害の防止に関する事項
- 十五 その他安全衛生に必要と認められる重要な事項

### 第3条 削除

(組織、委員長及び副委員長)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 各事業場の長
  - 二 衛生管理者のうちから学長が指名した者
  - 三 衛生工学衛生管理者のうちから学長が指名した者
  - 四 産業医のうちから学長が指名した者
  - 五 衛生推進者のうちから学長が指名した者
  - 六 安全又は衛生に関し経験を有する職員のうちから学長が指名した者
- 2 委員長は、事業場の長をもって充てる。ただし、事業場の実情により委員間の互選によることができる。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 4 学長は、第1項第1号委員以外の委員の半数については、当該事業場に職員の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合、職員の過半数で組織する労働組合がない場合は職員の過半数を代表する者の推薦に基づき指名しなければならない。

(任務)

第5条 委員長は、委員会を主宰し、その議長を務めるとともに、委員会への議題の提出その他必要な事項を処理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。
- 3 委員は、委員会に出席し、第2条に定める事項について意見を述べ、常に職場環境や安全衛生に関する事項に留意し、法人の安全衛生管理活動に寄与するよう努めるものとする。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

- 2 学長は、退職等により委員に欠員が生じた場合は、すみやかに欠員となった委員と同じ資格に基づくものを補充する。
- 3 前項により補充する委員の任期については、前任者の残任期間とする。

(開催)

第7条 委員会は、委員長の招集によって毎月1回以上開催するものとし、次の場合には臨時に開催することができる。

- 一 第2条に規定する調査審議事項に関し、当該事業場に関与する必要のある事項が発生したとき
- 二 その他委員長が必要と認めたとき

(会議の成立等)

第8条 委員会は、全委員の過半数の出席をもって成立する。



2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(議事概要の記録・保存)

第8条の2 委員長は、委員会の開催の都度、議事概要を作成しなければならない。

2 議事概要には、委員会の意見及び意見を踏まえて講じた措置の内容並びに委員会における議事で重要なものを記録し、3年間保存しなければならない。

(議事の概要の周知)

第8条の3 委員長は、委員会の開催の都度、遅滞なく、委員会の議事概要を職員に周知させなければならない。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、各事業場の事務担当者において処理する。

(雑則)

第10条 この要項に定めるもののほか、委員会の議事及び運営に関し、必要な事項は、委員会の議を経て別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年10月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

(7) センター職員

2015年4月1日～2020年3月31日の期間に保健管理センターに在籍した職員を下記に記載する。備考欄は2019年度の状況を示す。○は現在（2020年4月1日）もセンターに在籍している職員（順不同、敬称略）を示す。

津島キャンパス・鹿田キャンパス（鹿田室）

	職 種	職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
○	教 員	教授・内科	小倉俊郎	1995/06/01～2017/03/31	
○	〃	教授・精神科	大西 勝	2004/04/01～	産業医
○	〃	教授・内科	岩崎良章	2010/04/01～	産業医
○	〃	准教授・精神科	清水幸登	2006/10/01～2019/03/31	
○	〃	准教授・精神科	岡部伸幸	2019/04/01～	産業医
○	〃	講師・内科	中山 光	2010/04/01～2016/03/31	
○	〃	助教・精神科	河原宏子	2012/04/01～	特別契約職員
○	〃	助教・内科	谷口暁彦	2016/04/01～2017/12/31	
○	〃	助教・内科	樋口千草	2017/04/01～	産業医
○	〃	助教・内科	二宮 崇	2018/01/01～	産業医
○	医療職員	保 健 師	内藤恵子	1985/04/01～2016/03/31	
○	〃	〃	黒木清美	1991/04/01～	
○	〃	〃	岡 香織	2012/04/01～	衛生管理者
○	〃	〃	古本友理	2016/04/01～2020/03/31	
○	非常勤	〃	内藤恵子	2017/10/01～	
○	〃	看 護 師	森田知子	2005/03/16～	
○	〃	〃	中西順子	2007/07/16～	
○	医療職員	診療放射線技師	増田陽子	2013/04/01～	衛生管理者
○	医療職員	臨床検査技師	影山真希	2016/04/01～	
○	非常勤	〃	今井あゆみ	2013/04/01～2015/12/31	常勤1990/04/01～2013/03/31
	医療職員	栄 養 士	小林むつみ	1979/04/01～2016/03/31	非常勤1979/04/01～2004/08/31
	非常勤	〃	岸 めぐみ	2015/01/01～2016/06/30	
	〃	〃	森村 知里	2017/01/01～2019/10/31	
○	非常勤	臨床心理士	兒山志保美	2008/03/10～	
○	〃	〃	安東節子	2010/04/01～	
	〃	〃	妹尾明子	2014/03/01～2017/01/31	
	〃	〃	福永実加	2017/02/01～2018/07/31	
	〃	心理療法士	井戸由美子	2014/12/01～2019/11/30	
○	非常勤	技術補佐員	中務美貴	2020/02/01～	
○	事務職員	主 査	東 直美	2017/04/01～	
○	〃	主 任	橋本章江	2019/10/01～	
	〃	主 査	原田たみ子	2012/08/01～2017/03/31	
	〃	主 任	沖久舞子	2015/04/01～2019/09/30	
	非常勤	事務補佐員	小林和子	2010/04/01～2017/07/31	

## あ と が き

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に追われたことにより、予定より1年遅れになりましたが、2015（平成27）年度から2019（令和元）年度までの5年間の業務内容などをまとめた5年報をお届けすることができました。

この5年間は、はじめにやオーバービューで述べられているように、各種健康診断や特定健康診査、通常診療やよろず相談といった基本的な業務に加え、ストレスチェック制度の導入、長時間労働者への対応体制の見直し、外国人教職員及び留学生への対応、新型コロナウイルスの流行への対応など、様々な業務に迫られました。

保健管理センタースタッフ一同、真摯に業務に取り組んできたつもりではありますが、至らぬ点もあるかと思えます。これをお読みになる皆様方には、忌憚のないご意見をいただければと願っています。

現在、新型コロナワクチン3回目の職域接種に向けて準備をしているところです。センタースタッフ一同、これからも岡山大学の学生や教職員の健康と安全のために努力して行きたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

2021年12月

保健管理センター

大 西 勝

岡山大学保健管理センター 5年報

〔2015年度～2019年度〕

2022年3月発行

編集・発行 岡山大学保健管理センター  
〒700-8530 岡山市北区津島中2丁目1-1  
TEL 086 (251) 7223  
FAX 086 (251) 7222  
印刷所 昭和印刷株式会社  
岡山市南区豊成3-1-27



